

教科・種目名 国語

項目	発行者名		
	2 東書	15 三省堂	
使用上の留意点	別表1	<p>発達のためやすに照らして[D]では挿絵、写真、基礎編など部分的に使用することが可能である。 単元には「学習の流れ」を示している。</p> <p>「読む」では「言葉の力」として読解のポイントを示している。</p> <p>必要な箇所を枠で囲み見やすいように工夫している。 新出漢字は、脚注と巻末に単元ごとにまとめている。</p>	<p>発達のためやすに照らして[D]では「漢字を身につけよう」と写真、挿絵を中心に、部分的に使用することが可能である。 登場人物の関係や情景、思考の方法などを図解している。</p> <p>「話す、聞く」「書く」では学習の流れをわかりやすく示している。</p> <p>「読む」では、短い文章を最初に用意し、その単元で学ぶことを具体的に示している。</p> <p>単元ごとに「漢字を身につけよう」を掲載している。 巻末に漢字字典を付している。</p>
	別表2	<p>プレゼンテーション、依頼文、お礼状、スピーチなど他教科や実生活につながる教材を取り扱っている。</p> <p>古典教材はカラー資料を多く掲載している。 読み物教材や詩歌等は、挿絵とイメージ写真を多く掲載している。</p>	<p>手紙、お礼状、プレゼンテーション、新聞、グループディスカッション、パブリックスピーキングなど、他教科の学習や生活につながる教材を取り扱っている。</p> <p>古典の口語訳はカラー印刷である。</p> <p>単元ごとに、関連する本を丁寧に紹介している。</p>
	別表3・4	<p>挿絵、古典の口語訳はカラー刷りである。 図式、表は大きく掲載している。</p> <p>ユニバーサルデザインに配慮しているという記載がある。</p>	<p>巻末にカラー資料がある。 イラスト、図、写真は多く掲載している。 脚注にはイラストを掲載している。 ユニバーサルデザインに配慮しているという記載がある。</p>
備考			

発行者名	
17 教出	38 光村
<p>発達のためやすに照らして[D]は挿絵や写真を中心に、部分的に使用することが可能である。 「学びナビ」のコーナーは学びのスタイルに合わせて使用可能である。 「書く」「話す、聞く」などは、学習の流れをわかりやすく示している。</p> <p>ポイントを枠囲いでわかりやすく提示している。</p>	<p>発達のためやすに照らして[D]は挿絵や写真が部分的に使用することが可能である。 小学校からの接続を意識した教材を用意している。 「話す、聞く」「書く」では、学習の手順や流れを、わかりやすく提示している。</p> <p>読むポイントなどを、図や表を用いて、視覚的にわかりやすく提示している</p>
<p>SDGs をテーマにした単元構成にしている。 スピーチ、案内文、意見文、レポート、討論など、他教科の学習や生活に関連した教材を取り扱っている。</p> <p>古典でなじみ深い昔話を導入で取り扱っている。 単元と関連の深い本を丁寧に紹介している。</p>	<p>SDGs をテーマにした教材を取り扱っている。 情報の整理、スピーチ、ディスカッション、プレゼン、手紙、Eメールの書き方など、他教科の学習との関連、生活に活かせる内容のものを取り扱っている。 古典は、3年間の古典学習を見通した教材を導入で取り扱っている。 イラストや写真などを多く掲載している。</p>
<p>挿絵はカラー刷りである。 写真を豊富に掲載している。 図表はわかりやすいものを掲載している。 ユニバーサルデザインに配慮しているという記載がある。</p>	<p>写真や挿絵は豊富に掲載している。 グラフはカラー刷りである。 ユニバーサルデザインに配慮しているという記載がある。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

別表1

項目	2 東書
(1) ア	A
	B
	C
	D ◇写真や挿絵、話し方などについて、部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇「書く」「話す・聞く」については、「学習の流れ」として、その手順を示している。 ◇重要な語句などはフォントを変えたり色をつけたりしてわかりやすい。また、囲みなどレイアウトの工夫をしている。 ◇基礎編の内容は分かりやすく、理解の助けになるように工夫をしている。

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇「書く」における俳句や案内状などの創作や、「話す聞く」におけるスピーチ、プレゼン等の経験ができるように工夫している。
(2) イ	◇古典教材はカラー資料を多くして、わかりやすくすることで興味・関心を高めることができるように工夫している。 ◇読み物教材や詩歌等は、挿絵とイメージ写真が多くあることで、イメージしにくい生徒への配慮がある。
ウ	

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇挿絵はカラー刷りで見やすく分量も適当である。
(2) イ	◇図式や表を見やすくするように工夫をしている。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇読みやすいUDフォント、サイズ、色に配慮している。
(2) イ	◇行が分かりやすいよう表示に工夫している。行間も適当である。
ウ	

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

別表1

項目	15 三省堂
(1) ア	A
	B
	C
	D ◇「漢字を身につけよう」や、写真、挿絵などを部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇小説では登場人物の関係や情景、思考の方法などが図解されており、視覚的にわかりやすいように配慮している。 ◇重要な箇所は色や枠で分かりやすくなるように配慮している。

別表2

項目	15 三省堂
(1) ア	◇手紙、プレゼンテーション、新聞、パブリックスピーキングなどを取り扱っている。
(2) イ	
ウ	◇「読む」単元ごとに、関連する本を丁寧に紹介している。

別表3

項目	15 三省堂
(1) ア	◇巻末にカラー資料を掲載している。イラスト、図、写真も多くわかりやすいように工夫している。
(2) イ	◇古典の口語訳は青字でわかりやすいように工夫している。 ◇写真や図表、脚注の資料はカラーでわかりやすいように工夫している。

別表4

項目	15 三省堂
(1) ア	◇カラーバリアフリーなどユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	◇UDフォントを使用している。
ウ	◇開きやすく元に戻りにくい製本の工夫がある。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

別表1

項目		17 教出
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇挿絵や写真を中心に、部分的に使用が可能である。
(2) イ		◇「書く」「話す・聞く」などは、学習の流れが示している。 ◇「学びナビ」のコーナーは、学びのスタイルに合わせてアレンジして使用することが可能である。 ◇ポイントを枠で囲みわかりやすいように提示している。

別表1

項目		38 光村
(1) ア	A	
	B	
	C	
	D	◇挿絵や写真、を中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ		◇小字校からの接続を意識した教材が用意されている。 ◇「話す・聞く」「書く」では、学習の手順や流れをわかりやすく提示している。 ◇読むポイントなどは、図や表を用いて、視覚的にわかりやすくする工夫をしている。

別表2

項目		17 教出
(1)	ア	◇SDGsについて、スピーチ、案内文、意見文、レポート、討論などについて取り上げている。
(2)	イ	◇古典ではなじみ深い昔話を導入に使用している。
	ウ	◇単元と関連の深い書物を紹介している。

別表2

項目		38 光村
(1)	ア	◇SDGsについて、情報の整理、スピーチ、ディスカッション、プレゼンテーション、手紙、Eメールの書き方などについて取り扱っている。
(2)	イ	◇古典では、3年間の古典学習を見通した教材を導入にしている。 ◇イラストや写真などで、興味・関心が持てるように工夫している。
	ウ	◇イラストや写真などで、興味・関心が持てるように工夫している。 ◇関連する書物の紹介が丁寧である。

別表3

項目		17 教出
(1)	ア	◇挿絵はカラー、写真は豊富で、イメージしやすいように工夫している。
(2)	イ	◇わかりやすい図表を掲載している。

別表3

項目		38 光村
(1)	ア	◇写真や挿絵は豊富で、親しみを持てるように工夫している。
(2)	イ	◇グラフなどもカラー刷りでわかりやすいように工夫している。

別表4

項目		17 教出
(1)	ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮し、読みやすいように工夫している。
(3)	イ	◇行間は適当である。読みやすく、見やすいフォントに配慮している。
	ウ	◇表紙が柔らかく、扱いやすい。

別表4

項目		38 光村
(1)	ア	◇カラーバリアフリーを採用している。
(3)	イ	◇UDフォントを採用し、読みやすい紙面になるように工夫している。
	ウ	◇丈夫で堅ろうな作りである。

教科・種目名 書写

項目	発行者名	
	2 東書	15 三省堂
使用上の留意点	別表1 <p>発達のためやすに照らして、[C][D]では楷書による漢字、かなの書き方、点画の書き方や基本姿勢、生活との関連項目が部分的に使用可能である。</p> <p>手本を見ながら文字を書く欄を20箇所設定しており、そのうち楷書があるのは9箇所である。</p> <p>学習を生かして文学作品の一部を書写する箇所を3箇所設けている。</p> <p>筆遣いを擬音語で補助的に解説している。</p>	<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、楷書による漢字、かなの書き方、点画の書き方や基本姿勢、生活との関連項目が部分的に使用可能である。</p> <p>手本を見ながら文字を書く欄を24箇所設定しており、そのうち楷書があるのは19箇所である。</p> <p>学習を生かして文学作品の一部を書写する箇所が3箇所ある。</p>
	別表2 <p>1年時に職場訪問における手紙の書き方、2年時に防災訓練を例とした地域との連絡、3年時に文化祭展示や卒業式等、学校生活への活用を取り上げている。</p> <p>「生活にひろげよう」では、学校生活や家庭生活に関連する事項を取り上げている。</p> <p>マスコットが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。</p> <p>「書写のかぎ」では単元で学ぶポイントをイラストや図版を使って解説している。</p>	<p>1年時に壁新聞作成、2年時に情報誌作成、3年時に名言集作成等、学校生活への活用を取り上げている。</p> <p>資料では日常生活への応用編を提示している。</p> <p>巻末の資料に手紙、葉書、送り状、のし袋、願書、原稿用紙の書き方について解説している。</p> <p>マスコット及びイラストの中学生が学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。</p> <p>最初に見開き2ページの詩を楷書で提示している。</p>
	別表3・4 <p>写真、イラストがほぼすべてのページに挿入されており、多色刷りにしている。</p> <p>学校生活に生かす例では実際の作品を示している。</p> <p>常用漢字表には楷書体と行書体の2種類が示している。</p>	<p>写真、イラストがほぼすべてのページに挿入されており、多色刷りにしている。</p> <p>「やってみよう」の単元では写真やイラストを多く提示している。</p> <p>常用漢字表には楷書体と行書体の2種類が示してある。</p>
	<p>3年間で1冊になっており、その内訳は1年44ページ、2年30ページ、3年34ページ、資料32ページである。</p> <p>色覚特性に配慮していると記載がある。</p> <p>ユニバーサルデザインについて配慮していると記載がある。</p> <p>手本は折り込み全ページ、1ページで掲載している。</p>	<p>3年間で1冊になっており、その内訳は1年37ページ、2年22ページ、3年9ページ、資料48ページである。</p> <p>色覚特性に配慮していると記載がある。</p> <p>ユニバーサルデザインについて配慮していると記載がある。</p> <p>手本は折り込み全ページ、見開き2ページ、1ページで掲載している。</p>
備考	再生紙、植物油インキを使用していると記載がある。	環境にやさしい用紙、植物油インキを使用していると記載がある。

発行者名	
17 教出	38 光村
<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、楷書による漢字、かなの書き方、点画の書き方や基本姿勢、生活との関連項目が部分的に使用可能である。</p> <p>手本を見ながら文字を書く欄を29箇所設定しており、そのうち楷書があるのは16箇所である。</p> <p>学習を生かして文学作品の一部を書写する箇所が5箇所ある。</p> <p>学年ごとに、学年の教材だけの目次を再掲している。</p>	<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、楷書による漢字、かなの書き方、点画の書き方や基本姿勢、生活との関連項目が部分的に使用可能である。</p> <p>手本を見ながら文字を書く欄を18箇所設定しており、そのうち楷書があるのは8箇所である。</p> <p>学習を生かして文学作品の一部を書写する箇所が16箇所ある。</p> <p>筆遣いを擬音語で補助的に解説している。</p>
<p>1年時にレポート作成、手紙の書き方、2年時に新聞作成、掲示物作成、案内状作成、3年時に一筆箋、封筒、年賀状、葉書、往復葉書、包み紙、エアメール、原稿用紙、小包伝票、願書、志願書理由等の書き方をそれぞれ取り上げている。</p> <p>写真及びマスコットが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。</p> <p>最初に見開き2ページの詩を楷書で提示している。</p> <p>写真、イラストがほぼすべてのページに挿入されており、多色刷りにしている。</p> <p>学校生活、歴史的史跡や歴史的な書などの多くを写真で提示している。</p> <p>常用漢字表は小学校新出漢字と中学校新出漢字に分け、楷書と行書で示している。</p> <p>3年間で1冊になっており、その内訳は1年44ページ、2年32ページ、3年58ページ、資料48ページである。</p> <p>色覚特性に配慮していると記載がある。</p> <p>ユニバーサルデザインについて配慮していると記載がある。</p> <p>手本は折り込み全ページ、見開き2ページ、1ページで掲載している。</p> <p>再生紙、植物油インキを使用していると記載がある。</p>	<p>3年生時に卒業制作作品への生かし方を取り上げている。</p> <p>巻末の資料に手紙、葉書、願書、送り状、原稿用紙の書き方等、日常生活、学校生活への活用について解説している。</p> <p>イラストの中学生が学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。</p> <p>「コラム」には文字にまつわる話題や歴史を解説するページを設けている。</p> <p>写真、イラストがほぼすべてのページに挿入されており、多色刷りにしている。</p> <p>学校生活に生かす例では実際の作品を示している。</p> <p>常用漢字表には楷書体と行書体の2種類が示している。</p> <p>3年間で1冊になっており、その内訳は基礎編5ページ、書写ブックが27ページ、1年29ページ、2年26ページ、3年66ページ、資料36ページである。</p> <p>ユニバーサルデザインについて配慮していると記載がある。</p> <p>手本は折り込み全ページ、見開き2ページ、1ページで掲載している。</p> <p>環境に配慮した用紙、植物油インキを使用していると記載がある。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語(書写)

別表1

項目	2 東書	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇かなの書き方、点画の書き方、基本姿勢を部分的に使用することが可能である。
	D	◇かなの書き方、点画の書き方、基本姿勢、生活に広げようの単元を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇単元と目標を最初に記載し、写真、イラスト等をページの中心に配置 ◇筆遣いを擬音語で補助的に解説し、色文字、囲み、矢印などを使用 ◇手本を見ながら文字を書く欄を20箇所設定している。(うち楷書があるのは9箇所) ◇1ページ全使用、折り込み全ページの手本が15箇所である。 ◇各学年に、文化祭、卒業式等、学校行事に関連させた単元の設定をしている。	

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇1年 職場訪問における手紙の書き方 ◇2年 防災訓練を例とした地域との連絡 ◇3年 文化祭展示や卒業式等への活用 ◇「生活にひろげよう」では、学校生活や家庭生活に関連する事項を掲載している。
	◇写真、イラスト例は学校生活に関連するものを提示している。 ◇各学年に書き初めの手本を示している。 ◇「書写のかぎ」では単元で学ぶポイントをイラストや図版を使って解説している。
ウ	◇マスコットが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇写真、イラストをほぼすべてのページに挿入し、多色刷りの構成としている。
(2) イ	◇姿勢、筆の持ち方等を写真で説明している。 ◇常用漢字表には楷書体と行書体の2種類を提示している。
	◇単元の解説は概ね3行前後の提示、もしくは箇条書きで示している。 ◇1年44ページ、2年30ページ、3年34ページ、資料32ページ

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇背景は大部分が黄色と白で文字、写真、イラストとのコントラストは明瞭である。 ◇手本字の提示は白背景に黒である。
	◇運筆の提示は白背景に朱色である。
(3) イ	◇色覚特性に配慮している。
ウ	◇手本は折り込み全ページ、1ページで掲載している。 ◇文字のフォントは明朝体を活用している。
	◇縦256mm×横210mm ◇針金とじ ◇再生紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語(書写)

別表1

項目	15 三省堂	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇かなの書き方、点画の書き方、基本姿勢が部分的に使用することが可能である。
	D	◇楷書による漢字、かなの書き方、点画の書き方、基本姿勢、やってみようの単元を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇単元と目標を最初に記載している。 ◇書き初めの手本を見開きのページで設定し、色文字、囲み、矢印などを使用している。 ◇手本を見ながら文字を書く欄を24箇所設定している。(そのうち楷書があるのは19箇所) ◇1ページ全使用、見開き2ページ使用または折り込み全ページの手本が13箇所である。 ◇各学年に、壁新聞、情報誌、名言集等、学校行事に関連させた単元を設定している。	

別表2

項目	15 三省堂
(1) ア	◇1年 壁新聞作成 ◇2年 情報誌作成 ◇3年 名言集作成等、学校生活への活用 に関連する事項を掲載している。
	◇学校生活に関連する写真、イラストを提示し、各学年に書き初めの手本を示している。
ウ	◇マスコット及びイラストの中学生が学習のポイントやヒントを説明してナビゲート関連する事項を掲載している。 ◇最初に見開き2ページの詩を楷書で提示関連する事項を掲載している。

別表3

項目	15 三省堂
(1) ア	◇写真、イラストをほぼすべてのページに挿入し、多色刷りの構成を関連する事項を掲載している。
	◇姿勢、筆の持ち方等は写真で説明関連する事項を掲載している。 ◇やってみようの単元では、写真とイラスト中心で構成している。 ◇常用漢字表には楷書体と行書体の2種類を提示している。
ウ	◇単元の解説は概ね3行前後の提示、もしくは箇条書きで示している。 ◇1年37ページ、2年22ページ、3年9ページ、資料48ページである。

別表4

項目	15 三省堂
(1) ア	◇背景は大部分が白か薄茶色で文字、写真、イラストとのコントラストは明瞭である。
(2) イ	◇手本字の提示は白背景に黒である。 ◇運筆の提示は薄茶色背景に黒である。
	◇色覚特性に配慮している。
ウ	◇手本は折り込み全ページ、見開き2ページ、1ページで掲載している。 ◇文字のフォントは独自の明朝体とゴシック体を活用している。
	◇縦256mm×横182mm ◇針金とじである。 ◇環境にやさしい用紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語(書写)

別表1

項目	17 教出	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇かなの書き方、点画の書き方、基本姿勢を部分的に使用することが可能である。
	D	◇楷書による漢字、かなの書き方、点画の書き方、基本姿勢、生活との関連項目を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇単元と目標を最初に記載している。 ◇手本を見ながら文字を書く欄を29箇所設定している。(そのうち楷書があるのは16箇所) ◇1ページ全使用、見開き2ページ使用または折り込み全ページの手本が15箇所である。	
	◇各学年に、壁新聞、情報誌、名言集等、学校行事に関連させた単元を設定をしている。	

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇1年 レポート、手紙の書き方 ◇2年 新聞、掲示物、案内状の書き方 ◇3年 一筆箋、封筒、年賀状、葉書、往復葉書、包み紙、エメール、原稿用紙、小包伝票、願書、志願書理由等の書き方など、関連する事項を掲載している。
	◇学校生活に関連する写真、イラストを提示している。各学年に書き初めの手本を示している。
	◇写真及びマスコットが学習のポイントやヒントを説明してナビゲートしている。
	◇最初に見開き2ページの詩を楷書で提示している。

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇写真、イラストをほぼすべてのページに挿入し、多色刷りの構成としている。
(2) イ	◇姿勢、筆の持ち方等は写真で説明している。
	◇学校生活、歴史的史跡や歴史的な書などの多くを写真で提示している。 ◇常用漢字表は小学校新出漢字と中学校新出漢字に分け、楷書と行書で提示している。
ウ	◇単元の目標は概ね1行の提示している。 ◇1年44ページ、2年32ページ、3年58ページ

別表4

項目	17 教出
(1) ア	◇運筆の提示は白背景に朱色である。
(2) イ	◇色覚特性に配慮している。
	◇手本は折り込み全ページ、見開き2ページ、1ページで掲載している。 ◇文字のフォントは独自のユニバーサルフォントを使用している。
(3) エ	◇縦256mm×横210mm ◇針金とじてある。
	◇再生紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語(書写)

別表1

項目	38 光村	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇かなの書き方、点画の書き方、基本姿勢を部分的に使用することが可能である。
	D	◇楷書による漢字、かなの書き方、点画の書き方、基本姿勢、生活との関連項目を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇単元と目標を最初に記載している。 ◇手本を見ながら文字を書く欄を18箇所設定しており、そのうち楷書があるのは8箇所である。 ◇1ページ全使用、見開き2ページ使用または折り込み全ページの手本が14箇所である。 ◇巻末の資料は36ページ	

別表2

項目	38 光村
(1) ア	◇3年時 卒業制作作品への生かし方 を取り上げている。
	◇巻末資料に手紙、葉書、願書、送り状、原稿用紙の書き方等、日常生活、学校生活への活用について解説を示している。
イ	◇学校生活に関連する写真、イラストを提示し、各学年に書き初めの手本を示している。
ウ	◇写真及びマスコットが学習のポイントやヒントを説明している。
	◇「コラム」には文字にまつわる話題や歴史を解説するページを作成している。

別表3

項目	38 光村
(1) ア	◇写真、イラストをほぼすべてのページに挿入し、多色刷りの構成である。
(2) イ	◇姿勢、筆の持ち方等は写真で説明している。
	◇学校生活に生かす例では実際の作品を提示している。 ◇常用漢字表には楷書体と行書体の2種類を提示している。
ウ	◇単元の目標や解説は概ね3行程度の提示している。
	◇コラムについては200字～300字程度で説明している。 ◇基礎編5ページ、書写ブックが27ページ、1年29ページ、2年26ページ、3年66ページ、資料36ページ

別表4

項目	38 光村
(1) ア	◇背景は白で文字とのコントラストは明瞭で手本字の提示は白背景に黒、運筆の提示は白背景に朱色である。
(2) イ	◇色覚特性に配慮している。
	◇手本は折り込み全ページ、見開き2ページ、1ページで掲載している。
(3) エ	◇縦256mm×横182mm ◇針金とじてある。
	◇環境に配慮した用紙、植物油インキを使用している。

教科・種目名 社会(地理的分野)

項目	発行者名	
	2 東書	17 教出
使用上の留意点	別表1 発達のめやすに照らして、[C][D]では写真や挿絵、地図のページを部分的に使用することが可能である。 見開き2ページで一つの学習内容を提示している。 ページの上部に写真や地図等の資料、下部に文章を配置している。 各章の終末に、「まとめの活動」として探究課題を設定している。	発達のめやすに照らして、[C][D]では写真や挿絵、地図のページを部分的に使用することが可能である。 見開き2ページで一つの学習内容を提示している。 ページの上部に写真や地図等の資料、下部に文章を配置している。 各章の終末に、「学習のまとめと表現」として振り返りと表現・交流活動を設定している。
	別表2 巻頭・巻末に、世界各地の世界自然遺産や農産物を写真で紹介している。 防災・安全・環境・エネルギー、人権・平和など、SDGsから単元を構成している。 「地理にアクセス」のコーナーで、本文を詳しく説明したり関連する内容を紹介したりしている。 「見方・考え方」のコーナーで、学習内容を深める課題を提示している。 「みんなでチャレンジ」のコーナーで、グループで取り組む対話的活動を提示している。	巻頭・巻末に、世界各地の世界遺産や農産物を写真で紹介している。 他民族の共存、環境問題、人口・食料問題など、SDGsから単元を構成している。 「地理の窓」で、学習内容に対する視点を、広げたり深めたりするコラムを配置している。 「確認!」、「表現!」の問いかげにより、学習内容の理解を深めるように工夫している。
	別表3・4 本文と写真・グラフ等のレイアウトを統一して配置している。 本文の記述と資料が図版番号で対応している。 色覚特性に適應するようデザインしたとの記載がある。 ユニバーサルデザインフォントを採用しているとの記載がある。 難読漢字にはふりがながあり、ふりがなの印刷濃度を下げることで読みやすくしている。 縁取りや陰影をなくしたデザインとしている。 AB判 表紙・製本は堅ろうである。	本文と写真・グラフ等のレイアウトを統一して配置している。 本文の記述と資料が図版番号で対応している。 巻末の用語説明には、チェック欄が付されている。 カラーユニバーサルデザインに配慮しているとの記載がある。 ユニバーサルデザインフォントを採用しているとの記載がある。 誤読によるつまづきに配慮して、多くの漢字にはふりがながある。 AB判 表紙・製本は堅ろうである。
備考		

発行者名	
46 帝国	116 日文
発達のめやすに照らして、[C][D]では写真や挿絵、地図のページを部分的に使用することが可能である。 見開き2ページで一つの学習内容を提示している。 ページの上部に写真や地図等の資料、下部に文章を配置している。 各節の終末に、「節の学習を振り返ろう」として学習内容を整理するページを設定している。	発達のめやすに照らして、[C][D]では写真や挿絵、地図のページを部分的に使用することが可能である。 見開き2ページで一つの学習内容を提示している。 ページの上部に写真や地図等の資料、下部に文章を配置している。
巻頭に SDGs、巻末に世界各地の家畜・鉱産物や農産物を写真で紹介している。 SDGs(環境・防災・共生)のコラムを、関係する単元に配置している。 「地理プラス」で、学習内容に関連した事例を紹介している。 「確認しよう」、「説明しよう」により、学習内容の理解を深めるよう工夫している。	巻末に、世界各地の畜産物・鉱産資源や農産物を写真で紹介している。 日本の地域的特色と災害の関連を単元に設定している。 学習内容を深めるコラム「地理+α」を掲載している。 「確認」「深めよう」で、学習内容の定着を図っている。 「アクティビティ」、「チャレンジ地理」のコーナーで、グループで取り組む対話的活動を提示している。
本文と写真・グラフ等のレイアウトを統一して配置している。 本文の記述と資料が図版番号で対応している。 資料の読み取り方を解説した「技能をみがく」コーナーがある。 カラーユニバーサルデザインであるとの記載がある。 ユニバーサルデザインフォントを採用しているとの記載がある。 難読漢字にはふりがながあり、重要語句は太字ゴシック体で強調している。	本文と写真・グラフ等のレイアウトを統一して配置している。 本文の記述と資料が図版番号で対応している。 カラーユニバーサルデザインに配慮しているとの記載がある。 ユニバーサルデザインフォントを採用しているとの記載がある。 既習の教育漢字であっても極力ふりがなをつける配慮がなされている。 重要語句は太字ゴシック体で強調している。
AB判 表紙・製本は堅ろうである。	AB判 表紙・製本は堅ろうである。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(地理的分野)

別表1

項目	2 東書	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・挿絵・地図のページを部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・挿絵・地図・図表等のページを部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇見開き2ページで一つの学習内容を提示している。 ◇ページの上部に写真や地図等の資料、下部に文章を配置している。 ◇課題、学習のポイント、トピック等項目ごとに枠囲みを使用している。 ◇各章の終末に、「まとめの活動」として探究課題を設定している。	

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇巻頭・巻末に、世界各地の世界自然遺産や農産物を写真で紹介している。 ◇防災・安全、環境・エネルギー、人権・平和等、SDGsから単元を構成している。
	◇地域に住む人々の声をコラムとして掲載している。 ◇「地理にアクセス」のコーナーで、本文を詳しく説明したり関連する内容を紹介したりしている。 ◇登場人物がナビゲーターとして、学習課題やヒントを提示している。
ウ	◇「みんなでチャレンジ」のコーナーで、グループで取り組む対話的活動を提示している。 ◇「見方・考え方」のコーナーで、学習内容を深める課題を提示している。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇すべてのページが色刷りで、各ページの半分程度の領域が写真・地図・グラフ等である。 ◇本文と写真・グラフ等のレイアウトを統一して配置している。
(2) イ	◇見開き2ページで1単位を構成し、本文の記述と資料が図版番号で対応している。 ◇巻末の資料は、国別・地域別に色分けしている。 ◇資料の読み取り方や活用方法を解説した「スキル・アップ」コーナーがある。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇本文の背景は白、資料や注記の背景は薄い色をつけて区別している。 ◇色覚特性に適応するようデザインしたとの記載がある。
	◇ユニバーサルデザインフォントを採用しているとの記載がある。 ◇難読漢字にはふりがながあり、ふりがなの印刷濃度を下げることで読みやすくしている。 ◇縁取りや陰影をなくしたフラットデザインとなっている。
ウ	◇AB判 表紙・製本は堅ろうである。 ◇軽量な再生紙、植物油インキを使用しているとの記載がある。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(地理的分野)

別表1

項目	17 教出	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・挿絵・地図のページを部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・挿絵・地図・図表等のページを部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇見開き2ページで一つの学習内容を提示している。 ◇ページの上部に写真や地図等の資料、下部に文章を配置している。 ◇課題、学習のポイント、トピック等項目ごとに枠囲みを使用している。 ◇各章の終末に、「学習のまとめと表現」として振り返りと表現・交流活動を設定している。	

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇巻頭・巻末に、世界各地の世界遺産や農産物を写真で紹介している。 ◇他民族の共存、環境問題、人口・食料問題等、SDGsから単元を構成している。
	◇登場人物がナビゲーターとして、学習課題やヒントを提示している。 ◇「地理の窓」で、学習内容に対する視点を、広げたり深めたりするコラムを配置している。
ウ	◇「確認!」、「表現!」の問いかけにより、学習内容の理解を深めるよう働きかけている。

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇すべてのページが色刷りで、各ページの半分程度の領域が写真・地図・グラフ等である。 ◇本文と写真・グラフ等のレイアウトを統一して配置している。
(2) イ	◇見開き2ページで1単位を構成し、本文の記述と資料が図版番号で対応している。 ◇巻末の資料を国別・地域別に色分けしている。 ◇巻末の用語説明には、チェック欄を付している。 ◇資料の読み取り方を解説した「地理の技」コーナーを設けている。

別表4

項目	17 教出
(1) ア	◇本文の背景は白、注記の背景は薄い色をつけて区別している。 ◇カラーユニバーサルデザインに配慮しているとの記載がある。
	◇ユニバーサルデザインフォントを採用しているとの記載がある。 ◇誤読によるつまずきに配慮して、多くの漢字にはふりがなを付している。
ウ	◇AB判 表紙・製本は堅ろうである。 ◇再生紙、植物油インキを使用しているとの記載がある。 ◇バイオマスで発電されたグリーン電力を使用して印刷されているとの記載がある。



特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(地理的分野)

別表1

項目	46 帝国	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・挿絵・地図のページを部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・挿絵・地図・図表等のページを部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇見開き2ページで一つの学習内容を提示している。 ◇ページの上部に写真や地図等の資料、下部に文章を配置している。 ◇課題、学習のポイント、トピック等項目ごとに枠囲みを使用している。 ◇各節の終末に、「節の学習を振り返ろう」として学習内容を整理するページを設定している。	

別表2

項目	46 帝国
(1) ア	◇巻頭にSDGs、巻末に世界各地の家畜・畜産物や農産物を写真で紹介している。 ◇SDGs(環境・防災・共生)のコラムを、関係する単元に配置している。
(2) イ	◇登場人物がナビゲーターとして、学習課題やヒントを提示している。 ◇「地理プラス」で、学習内容に関連した事例を紹介している。 ◇地域に住む人々の声をコラムとして掲載している。
ウ	◇「確認しよう」、「説明しよう」により、学習内容の理解を深めるよう働きかけている。

別表3

項目	46 帝国
(1) ア	◇すべてのページが色刷りで、各ページの半分程度の領域が写真・地図・グラフ等である。 ◇本文と写真・グラフ等のレイアウトを統一して配置している。
(2) イ	◇見開き2ページで1単位を構成し、本文の記述と資料が図版番号で対応している。 ◇資料の読み取り方を解説した「技能をみがく」コーナーがある。

別表4

項目	46 帝国
(1) ア	◇本文の背景は白、資料や注記の背景は薄い色をつけて区別している。 ◇色覚特性に配慮したカラーユニバーサルデザインであるとの記載がある。
(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用しているとの記載がある。
(3) ウ	◇難読漢字にはふりがながあり、重要語句は太字ゴシック体で強調している。 ◇AB判 表紙・製本は堅ろうである。 ◇軽量な再生紙、ライスインキを使用しているとの記載がある。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(地理的分野)

別表1

項目	116 日文	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・挿絵・地図のページを部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・挿絵・地図・図表等のページを部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇見開き2ページで一つの学習内容を提示している。 ◇ページの上部に写真や地図等の資料、下部に文章を配置している。 ◇課題、学習のポイント、トピック等項目ごとに枠囲みを使用している。	

別表2

項目	116 日文
(1) ア	◇巻末に、世界各地の畜産物・畜産資源や農産物を写真で紹介している。 ◇日本の地域的特色と災害の関連を単元に設定している。
(2) イ	◇地域に住む人々の声をコラムとして掲載している。 ◇学習内容を深めるコラム「地理+α」を掲載している。 ◇登場人物がナビゲーターとして、学習課題やヒントを提示している。
ウ	◇「アクティビティ」、「チャレンジ地理」のコーナーで、グループで取り組む対話的活動を提示している。 ◇「確認」「深めよう」で、学習内容の定着を図っている。

別表3

項目	116 日文
(1) ア	◇すべてのページが色刷りで、各ページの半分程度の領域が写真・地図・グラフ等である。 ◇本文と写真・グラフ等のレイアウトを統一して配置している。
(2) イ	◇見開き2ページで1単位を構成し、本文の記述と資料が図版番号で対応している。 ◇巻末の資料を国別・地域別に色分けしている。

別表4

項目	116 日文
(1) ア	◇本文の背景は白、資料や注記の背景は薄い色をつけて区別している。 ◇カラーユニバーサルデザインに配慮しているとの記載がある。
(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用しているとの記載がある。
(3) ウ	◇既習の教育漢字であっても極力ふりがなをつける配慮をしている。 ◇重要語句は太字ゴシック体で強調している。 ◇AB判 表紙・製本は堅ろうである。 ◇再生紙、植物油インキを使用しているとの記載がある。

教科・種目名 社会(歴史的分野)

項目	発行者名	
	2 東書	17 教出
使用上の留意点	別表1 <p>発達のためやすに照らして[D]では写真、挿絵、図表等を部分的に使用が可能である。 第1章で学習方法の流れ、調べ学習のポイント等を記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。</p>	<p>発達のためやすに照らして[D]では写真、挿絵、図表等を部分的に使用が可能である。 第1章で小学校の振り返り、歴史の移り変わり等を記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。</p>
	別表2 <p>現代的な課題の理解と解決の態度を育成するSDGsの特設ページを掲載している。 各章に小集団活動や史料の読み解きなどのコーナーを掲載している。 章末に「もつと歴史」や「地域の歴史」があり、地域の遺跡や特色、調べ方を紹介している。 導入では、小学校で学習した内容の年表と資料をイラストや写真入りで記載し、具体的な章のまとめ例をあげている。 教師2人、生徒4人のナビゲーターキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなどわかりやすように工夫している。</p>	<p>現代的な課題の理解と解決の態度を育成するSDGsの特設ページを掲載している。 巻頭の「歴史すごろく」では、遊びの要素を含めた振り返り学習ができる。 特設ページで、各時代や地域の人物や遺跡などのエピソードを紹介している。 身近な地域の歴史を調べる学習活動に資するページが掲載している。 導入で学習する年表と代表的な写真を掲載し、年表の完成や自分でその時代を説明する課題をまとめとしている。 各章のはじめに学習に役立つウェブページにリンクされた二次元コードやアドレスを掲載している。 ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなどわかりやすように工夫している。</p>
	別表3・4 <p>図表・写真は見開き2分の1程度である。巻頭に写真入りの解説資料、巻末に3つ折りの歴史年表、写真入り解説資料、日本の主な史跡・旧国名を掲載している。 索引は、用語解説と事項・人名索引(50音順)がある。 AB判、7章構成である。 ユニバーサルフォントを採用している。</p>	<p>図表・写真は見開き2分の1程度である。巻頭に写真入りの解説資料、巻末に2つ折りと3つ折りの年表、図表などの解説資料を掲載している。 索引は、人名索引と事項索引(50音順)がある。 AB判、7章構成である。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。</p>
備考	再生紙、植物油インキを使用している。	再生紙、植物油インキを使用している。

発行者名	
46 帝国	81 山川
<p>発達のためやすに照らして[D]では写真、挿絵、図表等を部分的に使用が可能である。 第1部で小学校の学習を振り返り、歴史の学び方・調べ方を記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。</p>	<p>発達のためやすに照らして[D]では写真、挿絵、図表等を部分的に使用が可能である。 巻頭の「この教科書の使い方」と第1章で学習の方法、調べ学習のポイント等を掲載している。 見開きページごとに学習ページを設定している。</p>
<p>学びを広げるコラム「地域史」「人物コラム」「未来に向けて」などを掲載している。 「歴史を探ろう」など身近な地域の歴史を学習するコーナーを設けている。 「イラスト世界地図」で日本の歴史を世界の歴史の中に位置づけて見ることができる。 導入「タイムトラベル」で、その時代の人々の生活のようすをイラストで記載し、年表の完成やその時代の話し合い、説明の問題でまとめとしている。 学習の理解を助ける動画等のウェブページにリンクした二次元コードを掲載している。 ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなどわかりやすように工夫している。</p>	<p>各ページに学びを深めるコラム・史料・用語解説等を掲載している。 「地域からのアプローチ」では、各地域の時代ごとの歴史の展開や文化財保護の取り組み等を掲載している。 各世紀の世界のようすを地図とイラストで紹介している。 導入で学習する時代を年表や写真で記載、時代の流れや特徴を説明することでまとめとしている。 学習の理解を助ける動画やホームページにアクセスできる二次元コードを掲載している。 ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなどわかりやすように工夫している。</p>
<p>図表・写真は見開き2分の1程度である。巻頭に写真や図入りの解説資料、巻末は2つ折りの歴史年表と日本各地の歴史舞台について写真や図で解説を記載している。 索引は、凡例付き人物索引と事項索引(50音順)がある。 AB判、6章構成である。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。</p>	<p>図表・写真は見開き2分の1程度である。巻頭に「日本の世界遺産」の写真入りの解説資料、巻末に世界地図を掲載している。 索引は、用語解説と事項・人名索引(50音順)がある。 AB判、7章構成である。 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。</p>
再生紙、ライスインキを使用している。	再生紙、植物油インキを使用している。

教科・種目名 社会(歴史的分野)

項目	発行者名	
	116 日文	227 育鵬社
使用上の留意点	別表1 発達のためやすに照らして[D]では写真、挿絵、図表等を部分的に使用が可能である。 巻頭の「教科書の構成と使い方」と第1編で、歴史のとらえ方や流れ、学習の流れやポイント等をイラストの人物画も含めて記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。	発達のためやすに照らして[D]では写真、挿絵、図表等を部分的に使用が可能である。 巻頭でこの教科書の使い方、序章で歴史のとらえ方を記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。
	別表2 「チャレンジ歴史」「スキル UP」などにより地域の遺跡や特色、人物を紹介し、具体的な調べるポイントを紹介している。 「先人に学ぶ」では、先人の課題解決について紹介している。 導入ページで前の時代と比較した特色をイラストや年表・図で記載し、まとめページで年表や地図、表を使った課題でまとめとしている。 学習の理解を助ける動画やワークシート等のコンテンツにリンクした「デジタルマーク」を掲載している。 ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなどわかりやすいように工夫している。	社会、文化の発展に貢献した人物の生き方等を学ぶコラムが掲載している。 日本の文化遺産を資料とコラムで掲載している。 導入の「歴史絵巻」「○○の世界へようこそ」で時代の特徴を概観し、自分で考える問題とまとめる課題を掲載している。 「歴史のターニングポイント」「私の歴史博物館をデザインしてみよう」などでは、多様な言語活動による課題を掲載している。 ナビゲーターのキャラクターが登場し、質問や疑問を述べるなどわかりやすいように工夫している。
	別表3・4 図表・写真は見開き2分の1程度である。2つ折りの大判ページに資料を掲載している。 巻頭に写真入りの解説資料、巻末に2つ折りの歴史年表、文化財の種類、史跡・関係地について掲載している。 索引は、人名、事項(50音順)、テーマ別に分かれている。 AB判、6編構成である。	図表・写真は見開き2分の1程度である。 巻頭に写真入りの解説資料、巻末に3つ折りの年表とおもな遺跡・史跡を写真や図で解説している。 索引は、人名、事項(50音順)を掲載している。 AB判、序章を含めて6章構成である。 ユニバーサルデザインに配慮している。
備考		再生紙、植物油インキを使用している。

発行者名
229 学び舎
発達のためやすに照らして[D]では写真、挿絵、図表等を部分的に使用が可能である。 巻頭の「この教科書の使い方」「歴史への案内」で学び方を記載している。 見開きページごとに学習テーマを設定している。
「フォーカス」として、歴史の舞台に焦点をあてている。 「歴史を体験する」のコーナーでは、火おこし、地域調査、意図軸等の体験方法を掲載している。 章の扉ページには地図を置き、テーマに沿った世界各地の様子を写真や資料で掲載している。 章の振り返りで穴埋めやゲーム、実験等を行いながらまとめる課題を掲載している。 巻頭にナビゲーターキャラクターが登場している。
図表・写真は見開き2分の1程度である。 巻頭に世界の歴史と地図、巻末に2つ折りで日本の歴史地図を掲載している。 索引は、事項、人物、地方、産物、用語を50音順に掲載している。 A4判、6部構成である。 丈夫で開きのよいPUR製本を採用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(歴史的分野)

別表1

項目	2 東書
(1) ア	A
	B
	C
	D ◇写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇第1章で学習方法の流れ、調べ学習のポイント等を記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇各章ごとに具体的な章のまとめ例を解説している。 ◇各ページ左下部に、どの時代かがわかる年表を表示している。

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇現代的な課題の理解と解決の態度を育成するSDGsの特設ページを掲載している。
	◇各章に小集団活動や史料の読み解きなどのコーナーを掲載している。
	◇章末に「もっと歴史」や「地域の歴史」があり、地域の遺跡や特色、調べ方を紹介している。
	◇章のはじめに年表・人物イラスト・遺跡等の資料を掲載している。
(2) イ	◇導入では、小学校で学習した内容の年表と資料をイラストや写真入りで記載している。
	ウ ◇教師2人、生徒4人のナビゲーターキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇歴史上の人物の特徴を個性的にとらえたイラストを各章のはじめに掲載している。
	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
(2) イ	◇巻頭に写真入りの解説資料がある。 ◇巻末に3つ折りの歴史年表、写真入り解説資料、日本の主な史跡・旧国名を掲載している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。 ◇用語解説と事項・人名索引(50音順)を作成している。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇全ての生徒の色覚特性に適応するデザインである。
	◇見出しの色を各章で色分けし、抑えた色で統一している。
(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇AB判
(3) ウ	◇軽量な用紙を使用している。 ◇再生紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(歴史的分野)

別表1

項目	17 教出
(1) ア	A
	B
	C
	D ◇写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇第1章で小学校の振り返り、歴史の移り変わり等を記載している。 ◇各ページに各章名・単元名を記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇章ごとにテーマが色分けされており、左ページ小単元名の上に年表を表示している。

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇現代的な課題の理解と解決の態度を育成するSDGsの特設ページを掲載している。
	◇特設ページで、各時代や地域の人物や遺跡などのエピソードを紹介している。
	◇身近な地域の歴史を調べる学習活動に資するページを掲載している。
	◇各章の導入では、学習する年表と代表的な写真を掲載している。
(2) イ	◇各章のはじめに学習に役立つウェブページにリンクされた二次元コードやアドレスを掲載している。
	ウ ◇教師2人、生徒4人のナビゲーターキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。 ◇巻頭の「歴史すごろく」で、遊びの要素を含めた振り返り学習ができるように工夫している。

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
	◇小学校で学習した人物には「添物マーク」を表示している。
(2) イ	◇巻頭に写真入りの解説資料を掲載している。
	◇巻末に2つ折りと3つ折りの年表、図表などの解説資料を掲載している。
	◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。 ◇人名索引と事項索引(50音順)を作成している。

別表4

項目	17 教出
(1) ア	◇色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。
	◇見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。
(2) イ	◇AB判
(3) ウ	◇再生紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(歴史的分野)

別表1

項目	46 帝国
(1) A	
B	
C	
D	◇写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇第1部で小学校の学習を振り返り、歴史の学び方・調べ方を記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇第1部の「歴史をたどろう」で既習の歴史人物をイラストと年表で記載している。 ◇章ごとにテーマが色分けされており、右ページ右端の年表を表示している。

別表2

項目	46 帝国
(1) ア	◇学びを広げるコラム「地域史」「人物コラム」「未来に向けて」などを掲載している。 ◇「歴史を探ろう」など身近な地域の歴史を学習するコーナーを設けている。
(2) イ	◇「タイムトラベル」で、その時代の人々の生活のようすをイラストで記載している。 ◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や資料を視覚的に掲載している。
ウ	◇「イラスト世界地図」で日本の歴史を世界の歴史の中に位置づけたイラストを掲載している。 ◇学習の理解を助ける動画等のウェブページにリンクした二次元コードを掲載している。 ◇鳥型のキャラクター1匹、生徒4人のナビゲーターキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。

別表3

項目	46 帝国
(1) ア	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
(2) イ	◇巻頭に写真や図入りの解説資料を掲載している。 ◇巻末は2つ折りの歴史年表と日本各地の歴史舞台について写真や図で解説を記載している。 ◇凡例付き人物索引と事項索引(50音順)を作成している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。

別表4

項目	46 帝国
(1) ア	◇特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色使いとなるように工夫している。
(2) イ	◇見出しの色を各章で色分けし、抑えた色で統一している。
(3) ウ	◇見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇AB判
ウ	◇軽くて耐久性に優れた再生紙、ラミネーションを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(歴史的分野)

別表1

項目	81 山川
(1) A	
B	
C	
D	◇写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇巻頭の「この教科書の使い方」と第1章で学習の方法、調べ学習のポイント等を掲載している。 ◇見開きページごとに学習ページを設定している。 ◇章ごとにテーマを色分けして表記している。

別表2

項目	81 山川
(1) ア	◇各ページに学びを深めるコラム・史料・用語解説などを記載している。 ◇「地域からのアプローチ」では、各地域の時代ごとの歴史の展開や文化財保護の取り組み等を記載している。
(2) イ	◇章扉で学習する時代の帯年表と日本と世界の関係する写真を掲載している。 ◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や資料を視覚的に掲載している。
ウ	◇学習の理解を助ける動画やホームページにアクセスできる二次元コードを掲載している。 ◇各世紀の世界のようすを地図とイラストで紹介している。 ◇各小単元の最後にナビゲーターキャラクターが登場し、テーマを深める課題を提示している。

別表3

項目	81 山川
(1) ア	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
(2) イ	◇巻頭に「日本の世界遺産」の写真入りの解説資料を掲載している。 ◇巻末に現在の世界地図を掲載している。 ◇用語解説と事項・人名索引(50音順)を作成している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。

別表4

項目	81 山川
(1) ア	◇色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを採用と記載している。
(2) イ	◇見出しの色を各章で色分けし、抑えた色で統一している。
(3) ウ	◇AB判
ウ	◇環境に配慮した再生紙、植物油インキ使用と記載している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(歴史的分野)

別表1

項目	116 日文
(1) A	
ア B	
C	
D	◇写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用が可能である。
(2) イ	◇巻頭の「教科書の構成と使い方」で学習の流れについて記載している。 ◇第1編で、小学校の復習をイラストで紹介している。 ◇第1編で歴史のとらえ方や流れ、学習のポイント等を記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇章ごとにテーマが色分けされており、左ページ左下に編名、右ページ右端のに年表を表示している。

別表2

項目	116 日文
(1) A	◇「チャレンジ歴史」「スキルUP」などで地域の遺跡や特色、人物を紹介し、調べるポイントを記載している。 「先人に学ぶ」では、先人の課題解決について紹介している。
イ	◇各編のはじめに前後の時代を比較した資料、年表や世界地図による時代の外観を掲載している。 ◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や資料を視覚的に掲載している。
ウ	◇学習の理解を助ける動画やワークシート等のコンテンツにリンクした「デジタルマーク」を掲載している。 ◇教師2人、生徒4人のナビゲーターキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。

別表3

項目	116 日文
(1) A	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。 ◇2つ折りの大判ページに資料を掲載している。
(2) イ	◇巻頭に写真入りの解説資料を掲載している。 ◇巻末に2つ折りの歴史年表、文化財の種類、史跡・関係地について掲載している。 ◇人名、事項(50音順)、テーマ別に索引を分別している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。

別表4

項目	116 日文
(1) A	◇カラーユニバーサルデザインに配慮していると記載している。 ◇見出しの色を各章で色分けし、抑えた色で統一している。
(2) イ	◇読み間違えにくくわかりやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇AB判
(3) ウ	◇再生紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(歴史的分野)

別表1

項目	227 育鵬社
(1) A	
ア B	
C	
D	◇写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇巻頭でこの教科書の使い方を掲載している。 ◇序章で歴史のとらえ方を記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇章ごとにテーマを色分けし、各章名・単元名を記載している。

別表2

項目	227 育鵬社
(1) A	◇社会、文化の発展に貢献した人物の生き方等を学ぶコラムを掲載している。 ◇日本の文化遺産を資料とコラムを掲載している。
(2) イ	◇導入で時代の特徴を概観できる「歴史絵巻」「○○の世界へようこそ」を掲載している。 ◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や資料を視覚的に掲載している。
ウ	◇「歴史のターニングポイント」「私の歴史博物館をデザインしてみよう」などでは、多様な言語活動による課題を掲載している。 ◇教師2人、生徒2人のナビゲーターキャラクターが資料に質問や疑問形式で登場している。

別表3

項目	227 育鵬社
(1) A	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
(2) イ	◇巻頭に写真入りの解説資料を掲載している。 ◇巻末に3つ折りの年表とおもな遺跡・史跡を写真や図で解説して掲載している。 ◇人名、事項(50音順)の索引を作成している。 ◇各テーマに通し番号を付記、本文に資料番号を付記している。

別表4

項目	227 育鵬社
(1) A	◇より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮していると記載している。 ◇見出しの色を各章で色分けし、抑えた色で統一している。
(2) イ	◇AB判
(3) ウ	◇植物油インキを使用している。一部には再生紙を使用している。

## 特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(歴史的分野)

別表1

項目	229 学び舎
(1) ア	A
	B
	C
	D ◇写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇巻頭の「この教科書の使い方」「歴史への案内」で学び方を記載している。 ◇見開きページごとに学習テーマを設定している。 ◇章ごとにテーマを色分けし、各章名・単元名を記載している。

別表2

項目	229 学び舎
(1) ア	◇各部の随所に「フォーカス」として、歴史の舞台に焦点をあてた課題を提示している。
	◇随所に「歴史を体験する」のコーナーが設定され、火おこし、地域調査、糸紡ぎ等の体験方法を掲載している。
	◇章の扉ページには地図を置き、テーマに沿った世界各地のようすを写真や資料で掲載している。
	◇各小単元の最初にそのテーマを代表するものの写真や資料を視覚的に掲載している。
ウ	◇章の振り返りで穴埋めやゲーム、実験等を行いながらまとめる課題を掲載している。
	◇巻頭にナビゲーターキャラクターとして生徒4人、教師1人が登場している。

別表3

項目	229 学び舎
(1) ア	◇図表・写真は見開き2分の1程度である。
(2) イ	◇巻頭に主な史跡・関係地・出土地を表記した歴史地図を掲載している。
	◇巻末に2つ折りで日本の歴史地図を掲載している。
	◇索引は、事項、人物、地方、産物、用語を50音順に掲載している。

別表4

項目	229 学び舎
(1) ア	◇より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮していると記載している。
(2) イ	◇A4判
	◇再生紙、植物インキを使用している。
(3) ウ	◇丈夫で開きのよいPUR製本を採用している。

教科・種目名 社会(公民的分野)

項目	発行者名	
	.2 東書	17 教出
使用上の留意点	別表1	<p>発達のためやすに照らして、[D]において写真や図表資料を一部活用できる。 1時間の授業内容を見開き2ページで構成し、見開きページには、学習のめあてを示している。 各章の冒頭に「導入の活動」があり、学習内容を示すイラストと「探求課題」を掲載している。 各章の最後に「探求のステップ(課題の解決)」、「学習の振り返り(基礎・基本のまとめ)」を提示している。 単元のまとまりを重視した課題解決的な学習の流れで組み立てている。</p>
	別表2	<p>冒頭には、公民で学ぶ内容や学習の見通し、ノートの記録の方法や、SDGs について説明を示している。 「読み解こう」のコーナーで、実生活につながる課題を提示している。 「特設ページ」で今日的な課題を取り上げ、学びを深めるように工夫している。 「公民の技」で、身に付けたい技能・表現力を磨く課題を示している。</p>
	別表3・4	<p>デザインやキャラクターなどを整理し、学習内容に集中できるよう工夫している。 写真を大きく使用し、イメージを膨らませられるように工夫している。 カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 本文のふりがな等は、文字濃度を調整している。</p>
備考		

発行者名	
46 帝国	116 日文
<p>発達のためやすに照らして、[D]において写真や図表資料を一部活用できる。 1時間の授業内容を見開き2ページで構成し、見開きページには、学習のめあてを示している。 各節の最後に「技能をみがく」、「アクティブ公民」のコーナーを設け、学習内容を深める課題を示している。</p>	<p>発達のためやすに照らして、[D]において写真や図表資料を一部活用できる。 1時間の授業内容を見開き2ページで構成し、見開きページには、学習のめあてを示している。 巻頭にはSDGs、地理・歴史とのつながりを紹介している。</p>
<p>見開きの導入資料に、関連する身近な事例を列挙している。 各部のイラストを追うことで、実生活と学習内容を関連付けている。 「アクティブ公民」で、学習に興味・関心をもたせ、学ぶ意欲につなげるように工夫している。 イラストや図式でわかりやすく解説している。 章末の振り返りページに、思考力・判断力・表現力を養う課題を設定している。</p>	<p>各編の導入ページには、マンガで身近な場面を取り上げている。 「アクティビティ」のコーナーを設け、見方・考え方を養う問いを提示している。 「明日に向かって」のコーナーを設け、社会に参画するための手がかりを提示している。 「情報スキルアップ」のコーナーを設け、情報の読み取りや活用の技能、注意点を提示している。 身近なキャラクターが学習の視点を示す工夫をしている。</p>
<p>イラストや図解が豊富である。 写真を大きく使用し、視覚的支援を図っている。  カラーユニバーサルデザインに配慮した色調である。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。  堅ろうな製本仕様である。</p>	<p>挿絵やマンガが多彩である。 授業の進行や生徒の思考の流れに応じたレイアウトにしている。  カラーユニバーサルデザインに対応した配色である。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。  堅ろうなあじろとじを採用している。</p>



教科・種目名 社会(公民的分野)

項目	発行者名		
	225 自由	227 育鵬社	
使用上の留意点	別表1	<p>発達のためやすに照らして、[D]において写真や図表資料を一部活用できる。</p> <p>1時間の授業内容を見開き2ページで構成し、見開きページには、学習のめあてを示している。</p> <p>ページの上段に大きく写真や図表を提示している。</p> <p>章末には、学習のまとめと発展が掲載し、重要語句の一覧を掲載している。</p>	<p>発達のためやすに照らして、[D]において写真や図表資料を一部活用できる。</p> <p>1時間の授業内容を見開き2ページで構成し、見開きページには、学習のめあてを示している。</p> <p>各章の扉に、小学校で学習した関連内容を紹介している。</p> <p>巻頭・巻末にSDGs、「なぜ公民を学ぶのか」を掲載している。</p>
	別表2	<p>「アクティブに深めよう」では、答えのない問いに対して、さまざまな見方や考え方ができるように工夫している。</p> <p>「もっと知りたい」では、今日的な課題について資料を提示しながら解説している。</p> <p>各章の扉に学習内容に関連する問いかけを提示している。</p> <p>「やってみよう」のコーナーに、考える視点や話し合いの視点を提示している。</p>	<p>「学習を深めよう」「やってみよう」のコーナーを設け、現代社会の課題を取り上げたり、日常生活と結びつけたりする言語活動を設定している。</p> <p>単元の冒頭に、関連した写真や資料を掲載している。</p> <p>キャラクターが学習のポイントを紹介している。</p> <p>「〇〇の入り口」で学習に興味・関心をもたせ、「〇〇のこれから」で学びを深めるように工夫している。</p>
	別表3・4	<p>写真や図表を大きく使用し、視覚的支援を図っている。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>本文は明朝体、単元名や見出しはゴシック体で、装飾文字は使用していない。</p>	<p>挿絵が豊富である。</p> <p>写真資料や図表を豊富に掲載し、理解しやすいように工夫している。</p> <p>図版は色覚特性を踏まえた、色と表示の工夫をしている。</p> <p>堅ろうな製本仕様である。</p>
備考			

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(公民的分野)

別表1

項目	2 東書
(1) ア	A B C D ◇一部の写真と図表を使用することができる。
(2) イ	◇見開き2ページで1時間の授業展開を示している。 ◇各章の冒頭に「導入の活動」があり、見開き2ページにその部で学習する内容をイメージできるイラストと「探求課題」を掲載している。 ◇各章の最後に「探求のステップ(課題の解決)」「学習の振り返り(基礎・基本のまとめ)」があり、本章で学習したことが一目でわかるように工夫している。 ◇1時間の授業における学習課題を単元名の横に示している。 ◇単元のまとまりを重視した課題解決的な学習の流れで組み立てている。 ◇地理や歴史の分野と関連する教材には、ページの上に二次元コードを付している。

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇「もっと公民」のページでは、現代社会の課題や展望を取り上げている。 ◇「公民にアクセス」「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、現代社会の最新情報や用語を解説している。
(2) イ	◇各章のタイトル下に小学校既習用語を掲載している。 ◇各章のはじめに、興味・関心を引くイラストや写真を大きく掲載している。
ウ	◇4人の生徒と教師のキャラクターの会話の流れで、探求課題を解決するヒントを示している。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇凹凸のあるデザインやキャラクターなどを整理し、学習内容に集中しやすくするように工夫している。
(2) イ	◇写真が大きくイメージを膨らませやすく、視覚的支援の効果が高い。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇資料の掲載部分の背景に色を付けて、本文と資料の区別を明確にしている。 ◇カラーユニバーサルデザインで配慮している。
(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすくなるように工夫している。 ◇本文のふりがなや参照ページは、文字濃度を低くし読みやすくなるように工夫している。
ウ	◇強度と発色性を兼ね備えた質の高い再生紙の使用している。 ◇植物油インキの使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(公民的分野)

別表1

項目	17 教出
(1) ア	A B C D ◇写真や図表などの資料を一部使用することが可能である。
(2) イ	◇見開き2ページで1時間の授業展開になる構成にしている。 ◇章のはじめに「学習のはじめに」のページを設け、漫画やイラストを多用して、学習のねらいや視点、章全体の学習内容について示している。 ◇単元名の下に「学習課題」を示している。 ◇本時ページには、「確認」「表現」を設け、見通しと振り返りの学習場面が充実するように工夫している。 ◇内容構成は、「導入ページ」「本時ページ」「特設ページ」「学習のまとめと表現ページ」としている。

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇「読み解こう」のコーナーを設け、実生活につながる課題を示している。 ◇「特設ページ」で今日的な課題を取り扱い、学びを深められるように工夫している。
(2) イ	◇巻頭;巻末には現代社会の様子を示す写真を掲載している。 ◇「公民の学習を始めるにあたって」のページを設け、SDGs、公民で学ぶ内容や学習の見通し、ノートの記録の仕方などを示している。
ウ	◇キャラクターが導入資料の見方のヒントを示している。 ◇「公民の技」のコーナーを設け、公民の学習で身に付けたい技能・表現力を磨く課題を示している。

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇挿絵、図解などを豊富に示している。
(2) イ	◇写真や図版資料が豊富でイメージを膨らませやすく、視覚的支援の効果が高い。

別表4

項目	17 教出
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	◇本文や注釈など、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇キャラクターの吹き出しには、読みやすい改行の工夫をしている。
ウ	◇再生紙と植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(公民的分野)

別表1

項目	46 帝国
(1) ア	A B C D ◇写真や図版を一部使用することができる。
(2) イ	◇見開き2ページで1時間の授業展開を示している。 ◇各部の冒頭に「学習の前に」があり、見開き2ページにその部で学習する内容をイメージできるイラストを掲載している。 ◇各節の最後に「技能をみがく」「アクティブ公民」があり、学習したことをふまえた学習課題を示している。 ◇章のはじめに単元を貫く「章の問い」が設けられ、章の中の各節のはじめには「節の問い」がある。

別表2

項目	46 帝国
(1) ア	◇各見開きの導入資料に、関連する身近な事例を取り扱っている。
(2) イ	◇各部の導入に設けられたある町の様子が描かれたイラストから、「やってみよう」に示されたイラストを探すことで、実生活と学習内容を結びつけられるように工夫している。 ◇見開き1ページ上段にワイドな写真を掲載している。
ウ	◇「アクティブ公民」では、「あなたが無人島に漂着したら？」「一人暮らしにかかるお金を考えよう」など、学習に興味・関心を抱かせ、学ぶ必然性を感じられるように工夫している。 ◇イラストや図式でわかりやすく解説している。 ◇章末に思考力・判断力・表現力を用いた課題での振り返りページを掲載している。

別表3

項目	46 帝国
(1) ア	◇イラストや図解が多く、親しみやすいように工夫している。
(2) イ	◇写真が大きく、イメージを膨らませやすいように工夫している。

別表4

項目	46 帝国
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインで配慮した色調である。 ◇グラフが読み取りやすいように背景色や折れ線などの線を太くする工夫がある。
(2) イ	○学習単元の章ごとに色を統一している。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用し、数字やアルファベットの文字と線が判別しやすいように工夫している。
ウ	◇軽さと丈夫さを求めた教科書専用紙と植物油インキを使用している。 ◇長期使用に耐えられる堅ろうな製本仕様である。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(公民的分野)

別表1

項目	116 日文
(1) ア	A B C D ◇写真や図表を一部使用することができる。
(2) イ	◇原則1授業時間を見開き2ページとして構成している。 ◇単元名の左側に「学習課題」と「見方・考え方」を示し、何をどのようなことに着目して学ぶのかを明確にしている。 ◇各編は、導入ページ、本文ページ、編末の三つで構成している。 ◇巻頭にはSDGs、地理・歴史とのつながりを紹介している。 ◇各編の導入ページには、マンガで身近な場面を取り上げている。

別表2

項目	116 日文
(1) ア	◇「アクティビティ」のコーナーを設け、見方・考え方を働かせる問いを示している。 ◇「明日に向かって」のコーナーを設け、社会に参画するための手がかりを示している。 ◇「情報スキルアップ」のコーナーを設け、情報の読み取りや活用するときに必要な知識・技能や注意する点を示している。 ◇「チャレンジ公民」のページを各編の最後に掲載している。
イ	◇導入ページでは、マンガで身近な場面を取り上げて、学習内容に必然性をもたせている。
ウ	◇4人の生徒キャラクターと2人の教師キャラクターが登場し、学習の視点を示している。

別表3

項目	116 日文
(1) ア	◇挿絵やマンガが多彩で見やすいように工夫している。
(2) イ	◇写真などの図版には番号を付し、本文と図版を関連して読み取らせる工夫をしている。

別表4

項目	116 日文
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに対応した配色にしている。
(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用し読みやすいように工夫している。 ◇重要語句は太字ですべてふりがなを付している。 ◇ふりがなは大きめのゴシック体で読みやすいように工夫している。
ウ	◇堅牢なあじるとじを採用している。 ◇良質で軽い再生紙を使用している。 ◇植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(公民的分野)

別表1

項目	225 自由
(1) ア	A B C D ◇写真や図表を一部使用することができる。
(2) イ	◇見開き2ページで1時間の授業展開で構成している。 ◇単元名の下に学習課題を提示している。 ◇ページの上段に大きく写真や図表を提示している。 ◇章末には、学習のまとめと発展を掲載し、最重要語句を一覧にしている。 ◇「ここがポイント!」には、学習内容のポイントを示している。

別表2

項目	225 自由
(1) ア	◇「アクティブに深めよう」では、答えのない問いに対して、様々な見方や考え方ができるように工夫している。
(2) ア	◇「もっと知りたい」では、今日的な課題について資料を提示しながら解説している。
イ	◇各章の扉に学習内容に関連する問いかけを掲載している。
ウ	◇「やってみよう」のコーナーに、考える視点や話し合いの視点を示している。 ◇生徒のキャラクターが学習のポイントを紹介している。

別表3

項目	225 自由
(1) ア	◇必要最低限に配置した挿絵を大きくし、見やすいように工夫している。
(2) イ	◇写真や図表が大きくイメージを膨らませやすいように工夫している。

別表4

項目	225 自由
(1) ア	◇背景色は白を基調とし、枠線や挿絵を抑える配慮をしている。 ◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	◇本文は明朝体、単元名や見出しはゴシック体とし、装飾文字は使わない配慮をしている。
(3) ウ	

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(公民的分野)

別表1

項目	227 育鵬社
(1) ア	A B C D ◇写真、図表等を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇1授業時間を見開き2ページにまとめている。 ◇見開きのページを「つかむ」「調べる」「まとめる・表現する」で構成している。 ◇見開きの冒頭に、関連する複数の写真や資料を掲載している。 ◇導入資料を読み取る視点をキャラクターの吹き出しで示している。 ◇単元名の横に学習のねらいを示している。 ◇各章の扉に、小学校で学習した関連内容を紹介している。 ◇巻頭・巻末に持続可能な開発目標(SDGs)、「なぜ公民を学ぶのか」を掲載している。

別表2

項目	227 育鵬社
(1) ア	◇「学習を深めよう」「やってみよう」のコーナーを設け、現代社会の課題を取り上げたり、日常生活と結びつけた言語活動を設定したりしている。
(2) イ	◇章扉や見開きページの冒頭に、学習内容に関連した写真や資料を掲載している。
ウ	◇一緒に学ぶキャラクターを設定し、学習のポイントを紹介している。 ◇各章の扉の次に「現代社会の入り口」のように、問題意識を持って学習に取り組めるように「△△の入り口」のページを設けている。 ◇各章末に「憲法のこれから」のように、学習のまとめとして「△△のこれから」のページを設けている。

別表3

項目	227 育鵬社
(1) ア	◇キャラクターを効果的に使って、わかりやすく解説している。
(2) イ	◇写真資料や図表を豊富に掲載し、見やすいように工夫している。

別表4

項目	227 育鵬社
(1) ア	◇図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示に工夫している。
(2) イ	◇ふりがなにはゴシック体を用いている。 ◇見出しや単元名はゴシック体を用いている。 ◇文中の重要語句は太字で示している。
ウ	◇質の高い再生紙と植物油インキを使用している。 ◇長期使用に耐えうる丈夫な製本である。

教科・種目名 社会(地図)

項目	発行者名	
	2 東書	46 帝国
使用上の留意点	別表1 発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では、地図・写真・挿絵を部分的に使用することが可能である。 巻頭の折り込み資料「この地図の活用方法」で、読図の方法を説明している。	発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では、地図・写真・挿絵を部分的に使用することが可能である。 巻頭の折り込み資料「地図の使い方」で、地図帳の構成と、具体的な使い方や学習のポイントを解説している。
	別表2 巻頭の特集資料で「SDGs」について、課題と目標を掲載している。 日本全体の自然環境、人口、資源エネルギー、農林水産業、工業、交通・通信網、生活、文化をテーマごとに整理している。 「ジャンプ」コーナーでは、関連する資料を提示している。 「一般図」ページに「主な国の国旗」「注目したい記号」を取り上げて掲載している。 巻末資料に都道府県の産品、名所、お国自慢、食文化などをまとめて掲載している。	東京オリンピック・パラリンピックの開発のようすを特集している。 「資料図」ページで、気候、環境、生活・文化、エネルギー資源、交通・通信、自然災害、防災、観光・スポーツなどをテーマにして整理している。 「地図を見る目」として地図を見る観点や地図の使い方などを提示している。 「地図活用」で、生徒が主体的に学べる課題を提示している。 巻末に手話による地名の表現について記載している。
	別表3 世界地図には地球儀、日本地図に日本全土をかたどった位置図を掲載している。 資料図で構成されたページには、写真やイラストを随所に掲載している。 索引「世界の地名」…赤(国は◆、首都は※)、青(河川・湖等)、黒(その他)の3色で掲載している。 索引「日本の地名」…赤(都道府県は◆、県庁所在地は※)、青(山・川等自然地名)の3色で掲載し、○市○町○村も表記している。 「資料索引」として、関連する資料検索ができるように掲載している。 折り込みページが3箇所ある。 一般図の拡大図ページに土地利用の区別を色分けで解説している。	世界地図には地球儀、日本地図には日本全土をかたどった位置図を掲載している。 資料図で構成されたページには、写真やイラストを随所に掲載している。 索引「世界の部」…赤(国)、青(首都)、黒(その他)の3色で掲載している。世界の部「世界遺産、油田、炭田、歴史地名・事項、鉱山」には記号を付記して掲載している。「日本の部」…赤(都道府県)、青(県庁所在地)、黒(その他)の3色で掲載している。 索引の日本の部「世界文化遺産、世界自然遺産、歴史地名・事項、市町村」には記号を付記して記載している。 折り込みページが3箇所ある。 一般図、中心部図等、各ページの土地利用の区別色分け等の解説をしている。
	別表4 色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。 AB判である。	色覚特性、ユニバーサルデザインに配慮している。 A4判である。
備考	再生紙、植物油インキを使用しているという記載がある。	再生紙、植物油インキを使用しているという記載がある。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(地図)

別表1

項目	2 東書
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>B</li> <li>C ◇地図・写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用することが可能である。</li> <li>D ◇地図・写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇巻頭の折り込み資料「この地図の活用方法」で、読図の方法を説明している。</li> <li>◇「ジャンプ」のコーナーで、は関連する資料がある場合に提示している。</li> </ul>

別表2

項目	2 東書
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「一般図」ページに「主な国の国旗」「注目したい記号」を取り上げて掲載している。</li> <li>◇日本全体の自然環境、人口、資源エネルギー、農林水産業、工業、交通・通信網、生活、文化をテーマごとに整理している。</li> <li>◇巻末資料に都道府県の産品、名所、お国自慢、食文化などをまとめて掲載している。</li> </ul>
(2) イ	◇巻頭の折り込み資料「この地図の活用方法」で、読図の方法を説明している。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「Dマークコンテンツ」では、学びをサポートする白地図や関連情報を閲覧できるウェブページへリンクしている。</li> <li>◇生徒4人と先生2人のキャラクターが登場し、資料の課題を提示している。</li> </ul>

別表3

項目	2 東書
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇世界地図には地球儀、日本地図には日本全土を象った位置図を掲載している。</li> <li>◇資料図で構成されたページには、写真やイラストを随所に掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇索引「世界の地名」…赤(国は◆、首都は※)、青(河川・湖等)、黒(その他)の3色で掲載している。</li> <li>◇「日本の地名」…赤(都道府県は◆、県庁所在地は※)、青(山・川等自然地名)の3色で掲載し、○市○町○村も表記している。</li> <li>◇「資料索引」として、関連する資料検索ができるように作成している。</li> </ul>

別表4

項目	2 東書
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。</li> <li>◇一般図の拡大図ページに土地利用の区別を色分けで解説している。</li> <li>◇国名・都道府県名の活字を白色の線で縁取って記載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>◇A3判</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇軽量な用紙を使用している。</li> <li>◇再生紙、植物油インキを使用している。</li> </ul>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 社会(地図)

別表1

項目	46 帝国
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>B</li> <li>C ◇地図・写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用することが可能である。</li> <li>D ◇地図・写真・挿絵・図表等の資料ページを中心に、部分的に使用することが可能である。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇巻頭の折り込み資料「地図の使い方」で、地図帳の構成と、具体的な使い方や学習のポイントを解説している。</li> <li>◇「地図活用」で、生徒が主体的に学べる課題を提示している。</li> <li>◇「地図を見る目」として地図を見る観点や地図の使い方などを提示している。</li> </ul>

別表2

項目	46 帝国
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「資料図」ページで、気候・環境、生活・文化、エネルギー資源、交通・通信、自然災害、防災、観光・スポーツなどをテーマにして整理している。</li> <li>◇東京オリンピック・パラリンピックの開発のようすを特集している。</li> </ul>
(2) イ	◇巻頭の折り込み資料「地図の使い方」で、地図帳の構成と、具体的な使い方や学習のポイントを解説している。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇二次元コードが学習を深める資料やクイズが収録されたウェブページにリンクしている。</li> <li>◇巻末に手話による地名の表現について記載している。</li> </ul>

別表3

項目	46 帝国
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇世界地図には地球儀、日本地図には日本全土を象った位置図を掲載している。</li> <li>◇資料図で構成されたページには、写真やイラストを随所に掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇索引「世界の地名」…赤(国は◆、首都は※)、青(河川・湖等)、黒(その他)の3色で掲載している。</li> <li>◇「日本の地名」…赤(都道府県は◆、県庁所在地は※)、青(山・川等自然地名)の3色で掲載し、○市○町○村も表記している。</li> <li>◇「資料索引」として、関連する資料検索ができるように作成している。</li> </ul>

別表4

項目	46 帝国
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫していると記載している。</li> <li>◇国名・都道府県名の活字を白色の線で縁取って記載している。</li> <li>◇一般図、中心部図等、各ページの土地利用の区別色分け等について解説している。</li> <li>◇茶色の濃淡による等高線表現と色分けによる土地利用表現を併用して記載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>◇A4判</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇軽くて耐久性に優れた再生紙を使用している。</li> <li>◇植物油インキを使用している。</li> </ul>

教科・種目名 数学

項目	発行者名	
	2 東書	4 大日本
使用上の留意点	別表1 <p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。                      学習の手順として、導入の話題→例題→問題と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があることで習熟度の違いに対応できる。</p> <p>文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。</p>	<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。                      学習の手順として、導入の話題→例題→問題と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があることで習熟度の違いに対応できる。</p> <p>文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。</p>
	別表2 <p>章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結びついた題材を用いて学習内容を提示している。また、導入で提示された題材を本文でも扱い、展開につながりをもたせている。                      発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを専用のマークで示している。                      生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気づきや考えを導き出す工夫を、またナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。</p>	<p>章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結びついた題材を用いて学習内容を提示している。また、章末に日常生活と結びついた題材を扱った「利用」の活動を設けている。                      発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを専用のマークで示している。                      生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気づきや考えを導き出す工夫を、またナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。</p>
	別表3・4 <p>挿絵や図表、写真などの資料を随所に使用している。また、全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。                      学習目標、導入の問題、要点などは専用の枠を用いて、彩度を落とした背景色で色分けしている。                      ユニバーサルデザインフォントを採用している。                      サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。</p>	<p>挿絵や図表、写真などの資料を随所に使用している。また、図表は配色のほか、濃度や線種などを変えることで判別しやすいように工夫している。                      学習目標、導入の問題などは見出しにシンボルを用い、要点は背景色なしの専用枠内に黒字で表示している。                      ユニバーサルデザインフォントを採用している。                      サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。</p>
備考	<p>特別支援教育・色彩デザインに関する編集協力がある。                      再生紙と植物油インクを使用している。</p>	<p>特別支援教育、カラーユニバーサルデザイン、道徳教育に関する監修がある。                      環境に配慮した紙と植物油インクを使用している。</p>

発行者名	
11 学図	17 教出
<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。                      学習の手順として、導入の話題→例題→問題→振り返り→次の課題の提示と段階的に学習を進めることができる。また、「数と計算」の領域において、節末に計算力を高める問題を設けて基礎基本の習熟を図ることができる。</p>	<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。                      学習の手順として、導入の話題→例題→問題(2段階)と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があることで習熟度の違いに対応できる。</p> <p>文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。</p>
<p>章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結びついた題材を用いて学習内容を提示している。また、学習の区切りで学んだことの振り返りと次の課題の提示があり、予習と復習に活用できる。                      発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。                      生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気づきや考えを導き出す工夫を、またナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。</p>	<p>章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結びついた題材を用いて学習内容を提示している。また、新しい章の学習に入る前にレディネス問題を扱ったページを設け、既習内容の確認と定着を図っている。                      発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。                      生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気づきや考えを導き出す工夫を、またナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。</p>
<p>挿絵や図表、写真などの資料を随所に使用している。また、図表は配色のほか、濃度や線種などを変えることで判別しやすいように工夫している。                      学習目標、学習事項の振り返り、次の課題の提示は専用枠を設けて表示している。                      和文と英数字の並びや見え方を検証しながら、ユニバーサルデザインフォントを採用している。                      サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。</p>	<p>挿絵や図表、写真などの資料を随所に使用している。また、図表は配色のほか、濃度や線種などを変えることで判別しやすいように工夫している。                      学習目標、導入の問題は背景色なし、要点は枠内に色を付け黒字で表示している。                      ユニバーサルデザインフォントを採用している。                      サイズは B5 判、表紙は堅ろうである。</p>
<p>ユニバーサルデザインに関する監修がある。                      環境に配慮した紙と植物油インクを使用している。</p>	<p>特別支援教育に関する監修とSDGsとESDに関する校閲がある。                      再生紙と植物油インクを使用している。</p>

教科・種目名 数学

項目		発行者名	
		61 啓林館	104 数研
使用上の留意点	別表 1	<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。</p> <p>学習の手順として、導入の話題→例題→問題と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があることや自習を意図した2部構成となっていることから習熟度の違いや家庭学習にも対応できる。</p> <p>文章の改行を文節や意味のまとまりを基に行っている。</p>	<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。</p> <p>各章の学習の手順として、Q→例題→問い→確認問題→問題 A・B→「やってみよう(発展問題)」→「ふりかえり」と段階的に学習を進めることができる。また、補充の問題があり習熟度の違いにも対応できる。</p> <p>1年生については、小学校式の「～しよう」と表現している。</p>
	別表 2	<p>章の導入では、問題解決の視点で日常生活と結びついた題材を用いて学習内容を提示している。また、自習課題や学習状況を記録するチェックリストなどで主体性を育む工夫をしている。</p> <p>発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。</p> <p>生徒のキャラクターを用い、生徒の目線で気づきや考えを導き出す工夫を、またナビキャラクターは指導者の目線で発問や注意を示している。</p>	<p>実生活に関する例題や問題などを提示している。また、「数学の歴史を知ろう」「数学旅行」などで身のまわりにある数学や学んできた内容を説明している。</p> <p>発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。</p> <p>生徒と教師のキャラクターそれぞれの視点からの気づきや考え方があり、それらを質問や発問を考えるきっかけとしている。</p>
	別表 3・4	<p>挿絵や図表、写真、資料を随所に使用している。</p> <p>図表は配色のほか、濃度や線種を変えするなど判別しやすく表示し、色が手がかりとなる問題では、図中に色名を文字情報で付記している。</p> <p>例題、問題などのマークは同色を用い、囲みや形の違いで区別し、要点は専用枠内に黒字で表記している。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>サイズはB5判、表紙は堅ろうである。</p>	<p>色彩は豊かであり、生徒が興味を持つ絵図や写真を豊富に掲載している。</p> <p>図に添える文字や記号などを大きくし、全体的にユニバーサルデザインに配慮し、誰にでも見分けやすい色使いに配慮している。</p> <p>公式・定理などの重要な事項は、太文字や囲みや色付けをしている。</p> <p>全体的にユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>サイズはB5判、表紙は堅ろうである。</p>
備考	<p>特別支援教育、道徳教育、防災・減災に関する監修とメディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証(申請中)がある。</p> <p>再生紙と植物油インクを使用している。</p>	<p>再生紙と植物油インクを使用している。</p>	

発行者名	
116 日文	
<p>発達のためやすに照らして、[C][D]では、写真や図絵、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物や資料、付録などを部分的に使用できる。</p> <p>各章の学習の手順として、Q→めあて→例題→問い→基本の問題→章の問題→「とりくんでみよう」→次の章を学ぶ前に、段階的に学習を進めることができる。また、前年度の問題や活用の問題があり習熟度の違いにも対応できる。</p> <p>重要な内容やポイントとなる事項を吹き出しや背景色でわかりやすくしている。</p>	
<p>実生活に関する例題や問題などを提示している。また、「数学のたんけん」巻末の「数学マイトライ」で、数学を身近に感じたり、一人一人に応じた学習を選択できたりする工夫がある。</p> <p>発行者のホームページに学習に役立つデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。</p> <p>2人のキャラクターを用い、それぞれの視点からの気づきや考え方があり、それらを質問や発問を考えるきっかけとしている。</p>	
<p>色彩は豊かであり、生徒が興味を持つ絵図や写真を豊富に掲載している。</p> <p>図に添える文字や記号、線などの工夫や、文字などの情報を付加するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>重要な語句は太字表記し、初出の学用語などは囲み・色付けをしている。</p> <p>全体的にユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>サイズはB5判、表紙は堅ろうである。</p>	
<p>特別支援教育・カラーユニバーサルデザイン、防災・安全教育、道徳教育に関する校閲がある。</p> <p>再生紙と植物油インクを使用している。</p>	



特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 数学

別表1

項目	2 東書	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料、付録(紙学習具)など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など、使用できる。
(2) イ	◇巻頭に「この本の使い方」「大切にしたい数学の学び方」「ノートの作り方」を設けている。 ◇1つの学習内容を学習目標と導入の話題→例題→問題→補充の問題の流れで構成している。 ◇文章の改行を固定の文字数ではなく、文節や意味のまとまりを基に行っている。 ◇単ページのレイアウトを基本に構成している。 ◇右ページの外側に検索用のインデックスを施している。 ◇節末に確かめの問題、章末に章末問題A、B(活用の問題を含む)を設けている。	

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇「数学のまど」「学びをひろげよう」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
(2) イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結びつけた題材として提示している。 ◇章の導入で提示された題材を本文や例題、問題でも扱い、展開につながりを持たせている。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを専用のマークで示している。
	ウ

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。 ◇生徒のキャラクターは判別しやすいようにイラストと名前を示している。
(2) イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインをしている。 ◇学習目標、導入の問題、要点などは専用の枠を用いて、彩度を落とした背景色で色分けしている。
(3) イ	◇例題の解答例など、所々でノートを模した罫線入りの背景枠を使用している。
	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇主たる文字の大きさは11ポイント、字体は明朝を主に複数の書体を併用している。 ◇文中の重要語句はゴシック体の太字で表記している。 ◇例題の文字の大きさを、問題よりも1ポイント大きく表記している。 ◇本文と例題、問題などの内容間の区切りで空行をはさんでいる。
ウ	◇サイズはB5判で、表紙は丈夫な紙を用い、光沢感のある加工を施している。 ◇再生紙と植物油インクを使用している。 ◇製本はPUR接着剤を用いたあじろとじ方式を採用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 数学

別表1

項目	4 大日本	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料、付録(紙学習具)など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など、使用できる。
(2) イ	◇巻頭に「この教科書の使い方」「数学の世界へようこそ」「研究をしよう」「ノートの作り方」を設けている。 ◇1つの学習内容を導入の話題、学習目標→例題→問題→補充の問題の流れで構成している。 ◇文章の改行を固定の文字数ではなく、文節や意味のまとまりを基に行っている。 ◇右ページの外側に検索用のインデックスを施している。 ◇節末に確かめの問題、章末に学習内容の利用と章末問題と活用の問題を設けている。	

別表2

項目	4 大日本
(1) ア	◇「社会にリンク」「MATHFUL」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
(2) イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結びつけた題材として提示している。 ◇章末に日常生活と結びつけた題材を扱った「利用」の活動が設けられている。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを専用のマークで示している。
	ウ

別表3

項目	4 大日本
(1) ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。 ◇生徒のキャラクターは判別しやすいようにイラストに名前を付記している。
(2) イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。

別表4

項目	4 大日本
(1) ア	◇領域ごとにメインカラー(4色)を設定し、見出しの背景色やインデックスに使用している。 ◇学習目標、導入の問題、要点などの見出しはシンボルを用いて白抜き文字で表現している。 ◇要点は背景色無しの専用枠内に黒字で表記している。 ◇例題の解答例など、所々で黒板(白抜き文字)やノートを模した背景枠を使用している。
(3) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇主たる文字の大きさを第1学年は12ポイント、第2・3学年は11ポイントと段階的に変えている。 ◇字体は明朝を主に複数の書体を併用している。 ◇文中の重要語句はゴシック体の太字で表記している。 ◇本文と例題、問題などの内容間の区切りで空行をはさんでいる。
	ウ

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 数学

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 数学

別表1

項目	11 学図	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料、付録(紙学習具)など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など、使用できる。
(2) イ	◇巻頭に「この教科書を使った数学の学び方」「ノートの使い方」「単位の書き方」を設けている。 ◇1つの学習内容を導入の話題、学習目標→例題→問題→学習事項の振り返りと次の課題の提示の流れで構成している。 ◇右ページの外側に検索用のインデックスを施している。 ◇節末に確かめの問題、章末に章末問題(基本、応用、活用)を設けている。 ◇「数と計算」の領域において、節末に計算力を高める問題を設けている。	

別表2

項目	11 学図
(1) ア	◇「役立つ数学」「深めよう」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
(2) イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結びつけた題材として提示している。 ◇学習の区切りで「どんなことがわかったかな」「次の課題へ」を設けている。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。
	ウ

別表3

項目	11 学図
(1) ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。 ◇生徒のキャラクターの服装を場面に応じて変えている。
(2) イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。

別表4

項目	11 学図
(1) ア	◇ユニバーサルデザインの視点を取り入れて編集している。 ◇下線による強調は、色だけでなく線の本数や線種を変えて表現している。 ◇学習目標、学習事項の振り返り、次の課題の提示は背景色なしの専用枠を設けて表示している。 ◇要点や例の解答は背景色ありの専用枠内に黒字で表記している。 ◇例題の解答例など、所々で黒板(白抜き文字)やノートを模した背景枠を使用している。
	イ
ウ	◇サイズはB5判で、表紙は丈夫な紙を用い、光沢を押さえた加工を施している。 ◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。

別表1

項目	17 教出	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料、付録(紙学習具)など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など使用できる。
(2) イ	◇巻頭に「教科書の使い方」「学習するにあたって」「数学的な考え方」を設けている。 ◇1つの学習内容を学習目標と導入の話題→例題→問題→補充の問題の流れで構成している。 ◇例題に対応する問題を「たしかめ」と「問」の2段階で提示している。 ◇文章の改行を固定の文字数ではなく、文節や意味のまとまりを基に行っている。 ◇ページの右側に罫線を引き、本文と補足的な内容とを明確に区別している。 ◇節末に確かめの問題、章末に章末問題(活用の問題を含む)、次章の学習準備を設けている。	

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇「数学の広場」「学んだことを活用しよう」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
(2) イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結びつけた題材として提示している。 ◇新しい章の学習に入る前に「学習する前に」を設け、レディネス問題を扱っている。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを二次元コードで示している。
	ウ

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。
(2) イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。

別表4

項目	17 教出
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇学習目標、導入の問題は背景色無しの専用枠を用いて表示している。 ◇要点は薄橙の背景色の専用枠内に黒字で表示している。 ◇例題、たしかめ、問はデザインの新なるシンボルを用いて表示している。 ◇例題の解答例など、所々でノートを模した罫線入りの背景枠を使用している。
(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇主たる文字の大きさは11ポイント、字体は明朝を主に複数の書体を併用している。 ◇文中の重要語句はゴシック体の太字で表記している。 ◇本文と例題、問題などの内容間の区切りで空行をはさんでいる。
	ウ

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 数学

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 数学

別表1

項目	61 啓林館	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真や図絵、巻末資料など、部分的に使用できる。
	D	◇Cの内容に加えて、各章の導入の話題、例題と問題、節末、章末、巻末の読み物など、使用できる。
(2) イ	◇巻頭に「この本の構成と使い方(学び方、ノートの工夫の仕方)」を設けている。 ◇授業で用いる「みんなで学ぼう編」と家庭学習で取り組む「自分から学ぶ編」の2部構成となっている。 ◇1つの学習内容を学習目標と導入の話題→例題→問題→補充の問題の流れで構成している。 ◇文章の改行を固定の文字数ではなく、文節や意味のまとまりを基に行っている。 ◇右ページの外側に検索用のインデックスを施している。 ◇節末に確かめの問題、章末に章末問題(基本、応用)と家庭学習用に総合問題を設けている。	

別表2

項目	61 啓林館
(1) ア	◇「数学ライブラリー」「学びをいかそう」などで身近な事象を題材に活用場面を紹介している。
(2) イ	◇章の導入で学習する内容を日常生活と結びつけた題材として提示している。 ◇「自分から学ぶ編」に学習状況を記録するチェックリストがある。 ◇発行者のホームページにデジタルコンテンツが用意されていることを「二次元コード」で示している。
	ウ

別表3

項目	61 啓林館
(1) ア	◇全学年を通して共通のキャラクターを挿絵で用いている。
(2) イ	◇本文の内容や設問に対応する図表、写真などの資料を随所に使用している。 ◇図表は配色のほか、濃度や線種の変更、模様による表現などで判別できるように工夫している。 ◇色が手がかりとなる問題には、図中に色の名前を文字情報として付記している。

別表4

項目	61 啓林館
(1)	
(2) ア	◇例題、問題、考え方のシンボルは同色(茶色)を用い、枠線の線種や形の違いで区別している。 ◇要点は背景色無しの専用枠内に黒字で表記している。 ◇例題の解答例など、所々でノートを模した罫線入りの背景枠を使用している。
	イ
(3) ウ	◇サイズはB5判で、表紙は丈夫な紙を用い、光沢を押さえた加工を施している。 ◇再生紙と植物油インクを使用している。 ◇製本はあじろとじ方式を採用している。

別表1

項目	104 数研
(1) ア	A B C 表紙の写真、巻末資料等を使用することができる。 D ◇各章のはじめの、写真や絵図、各章の問題等を使用することができる。
(2) イ	◇この教科書について「学習の進め方」「ノートの作り方」を掲載している。 ◇「問題Q」→「例題」→「問」の順に構成している。 ◇第1学年の問の表現を「～しよう」と小学校と同じ提示方法で示している。 ◇「学習の目標」フラッグのマークと文字に黄色の下線で表記している。 ◇重点箇所は、太字表記、付箋や囲み罫線によるポイントのまとめを掲載している。

別表2

項目	104 数研
(1) ア	◇章のはじめに「ふりかえり」、学習内容に関する写真、絵図、興味をひく発問を示している。 ◇実生活の関する例題を提示(日本各地の気温や少子化問題など)している。
(2) イ	◇「～してみよう」などの提示がある。 ◇各単元のおわりに「確認問題」、各章のおわりに「確認問題A」「確認問題B」を掲載している。 ◇巻末に各学年の「まとめ」があり、前学年で学んだ関連を表記している。 ◇巻末に評価項目が3年間同じ「学びの自己評価」を掲載している。
	ウ

別表3

項目	104 数研
(1)	◇巻頭、巻末、各章に写真、絵図を随時使用している。
(2) ア	◇キャラクターの問いかけが、「疑問」「発表」で仕草に変化をもたせわかりやすいように工夫している。 ◇教種類の色を使用してわかりやすく工夫している。
	イ

別表4

項目	104 数研
(1) ア	◇ユニバーサルデザインに配慮し、鮮明で、誰にでも見分けやすい色使いを工夫している。
(2)	◇「例」「問」などの学習記号は色を変え明示している。
(3) イ	◇文字の大きさは11ポイントサイズで、行間にも余裕がある。 ◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇重要語句は太文字、一部の漢字にふりがなを付記している。
	ウ

## 特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 数学

別表1

項目		116 日文
(1) ア	A	
	B	
	C	表紙の写真、巻末資料等を使用することができる。
	D	◇各章のはじめの説明文、写真や絵図、各章の問題、巻末のまとめや付録等を使用することができる。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇この本の使い方「数学の学習を始めよう!」「数学的な見方・考え方を身につけよう!」「算数を確かめよう」「ノートの工夫」を掲載している。</li> <li>◇もくじの左端にこれまでに学んだことを明示している。</li> <li>◇「Q(確かめよう)」「めあて」→「問」→「例」の順に構成している。</li> <li>◇初出用語は太字で表記している。</li> </ul>	

別表2

項目		116 日文
(1)		◇章のはじめに「次の章を学ぶ前に」、学習内容に関する写真、絵図、興味・関心をひく発問がある。
(2) ア		◇各単元のおわりに、「数学のたんけん」を掲載している。 ◇実生活の関する例題を提示(温暖化や少子化問題など)している。
	イ	◇もくじの右端に前学年で学んだことを色背景で表記している。 ◇「やってみよう」「まちがいやすい問題」などを提示している。 ◇各単元のおわりに「基本の問題」、各章のおわりに「章の問題」「とりくんでみよう」を掲載している。 ◇巻末に各学年の「補充問題」、前学年の「復習問題」を掲載している。 ◇さくいんの用語に英語単語を明記している。
ウ		◇キャラクターと男女各2名がそれぞれの視点でヒント等を提示している。 ◇「問」の右端に「チャレンジ」「補充問題」を掲載している。 ◇巻末に「立体」「因数分解」の付録がある。 ◇巻末に「対話シート」を添付している。

別表3

項目		116 日文
(1)		◇巻頭、巻末、各章に写真、絵図を随時掲載している。
(2) ア		◇キャラクターの問いかけは吹き出しを使用している。 ◇数種類の色を使用している。
	イ	◇吹き出しなど重要なものについては、背景の色を使用している。 ◇解答例を手書き風文字にして、印象に変化をさせている。 ◇図の中にあるマークや記号などを大きく表示している。

別表4

項目		116 日文
(1)		◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
(2) ア		◇「例」「問」などの学習記号は色を変え明示している。 ◇学習のポイント・重要な説明や公式には背景色をつけ見やすいように工夫している。
	イ	◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ◇文字の大きさや行間は読みやすいように工夫している。 ◇重要語句は太文字、一部の漢字にふりがなを付記している。
ウ		◇サイズはB5判で、表紙は堅ろうである。 ◇植物性インキと再生紙を使用している。

教科・種目名 理科

項目	発行者名	
	2 東書	4 大日本
使用上の留意点	別表1 <p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真・図などを使用することが可能である。文中の重要語句に読み仮名をふる配慮をしている。 色覚特性のある生徒の支援の観点から、複数のデータのある折れ線グラフでは、色だけで区別せず、線の形を変えたり線の意味を言葉で示したりする配慮をしている。</p>	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真・図などを使用することが可能である。文中の語句の多くに読み仮名をふる配慮をしている。 どんな生徒にも見やすいように、配色・デザインに配慮している。</p>
	別表2 <p>例えば気体の性質を防災と関連させたり、結晶と薬の製造を関連させたりして実生活につなげている。  本文中のコラム「つながる科学」では、身のまわりの生物や日常的に目にする現象の観察を多く取り上げている。  探求活動の意義や進め方が漫画で解説し、わかりやすいように工夫している。</p>	<p>例えば取扱いに注意が必要な気体について、身近な使用例を挙げて実生活につなげている。  単元中のコラム「くらしのなかの理科」では、学習内容が日常生活や社会で活用されている事例を紹介し、生徒の興味・関心を高められるように工夫している。  観察・実験の活動、課題の探求などを重視した構成にしている。</p>
	別表3・4 <p>挿絵が豊富で大きい。 図表、写真等の資料が見やすいように配慮している。 文章は行末で単語が途切れないように工夫している。 色刷りは適切である。枠の反転があり見やすい。 文字が大きく、字間、行間に余裕があり見やすい。 見出しや重要語句は角ゴシック・丸ゴシック体を使用している。 見やすく読みやすいユニバーサルフォントを多く採用している。 製本は堅ろうである。</p>	<p>挿絵が豊富である。 図表、写真等の資料には、詳しい解説を掲載している。  色刷りは適切である。  文字が大きく、字間、行間も余裕があり見やすい。 見出しの書体は全て丸ゴシック体を採用し、全体は見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントを多く採用している。  製本は堅ろうである。</p>
備考	<p>用紙は軽量の再生紙を使用し、インクは植物油インキを使用している。</p>	<p>用紙は環境に配慮した紙を使用し、インクは植物油インキを使用している。</p>

発行者名	
11 学図	17 教出
<p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真・図などを使用することが可能である。文中の重要語句のほとんどに読み仮名をふる配慮をしている。 色覚特性のある生徒への支援の観点から、複数のデータのある折れ線グラフでは、色だけでなく、線の形を変えて区別している。</p>	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真・図などを使用することが可能である。文中の語句の多くに読み仮名をふる配慮をしている。 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすい配色になっている。</p>
<p>「まなびを日常にいかしたら」では、例えばガス警報器の取り付け位置を気体の性質と関連させて解説するなど、実生活につなげる内容を取り扱っている。 単元中のコラム「サイエンスカフェ」では、自然の事物・現象に対する興味・関心を引き出す補助資料を多く取り上げている。  単元ごとに「①問題を発見する。②仮説をもとに計画を立てる。③探求の過程をふり返る。」のように進め方が明確になるように工夫している。</p>	<p>「学習後の私」では、例えば「光の性質」では、夜景の撮影の方法など、学習内容の活用のための考察ができるように工夫している。 単元中のコラム「ハローサイエンス」では、例えば溶解度を応用して海水から塩を取り出すなど、実生活で活用されている話題を紹介し、生徒の興味・関心を高められるように工夫している。 探求の進め方について教科書冒頭で説明している。</p>
<p>挿絵が豊富で大きい。 図表、写真等の資料が見やすいように配慮している。  色刷りは適切である。  文字が大きく、字間、行間も余裕があり見やすい。 見出し、重要語句はともに角ゴシック体を使用している。  製本は堅ろうである。</p>	<p>挿絵が豊富で大きい。 図表、写真等の資料は見やすいように配慮している。また、わかりやすいように工夫して説明している。  色刷りは適切である。  文字が大きく、字間、行間も余裕があり見やすい。 見出し、重要語句ともに角丸ゴシック体を採用している。見やすく間違えにくいユニバーサルフォントを採用している。  製本は堅ろうである。</p>
<p>環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。</p>	<p>用紙は環境に配慮した再生紙を使用し、植物油インキを使用している。</p>

教科・種目名 理科

項目	発行者名
使用上の留意点	61 啓林館
	<p>別表 1</p> <p>発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では写真・図などを使用することが可能である。 文中の重要語句だけでなく本文の語句の多くに読み仮名をふる配慮がある。 色覚の個人差を問わず、すべての生徒が支障なく学習が進められるよう配色・デザインを工夫している。</p>
	<p>別表 2</p> <p>単元末の最後にある「ひろがる世界」では、例えば、動物園・水族館の展示方法など、学習した内容を社会や未来に活用する内容を掲載している。</p> <p>「防災・減災ラボ」では災害に備える知識を、「お仕事ラボ」ではキャリア教育との関連で仕事の内容の紹介を紹介している。</p> <p>単元の始めには学習に関連した身のまわりの疑問について考え、単元を学んだ後に同じ問いを再考する構成にしている。</p>
備考	<p>別表 3・4</p> <p>挿絵が豊富で大きい。</p> <p>図表、写真等の資料は、見やすいように配慮している。 解説は詳細に示し、理解しやすいように工夫している。</p> <p>色刷りは見やすく適切である。</p> <p>文字が大きく、字間、行間も余裕があり見やすい。 見出し、重要語句はともに角ゴシック体を使用している。 見やすいユニバーサルフォントを採用している。</p> <p>製本は堅ろうである。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 理科

別表1

項目	2 東書
(1) ア	A
	B
	C ◇写真・図を使用することが可能である。
	D ◇写真・図の解説などを使用することが可能である。
(2) イ	◇色で区別することが必要な箇所では、隣り合う区画を区別しやすい色にするなど、カラーユニバーサルデザインが取り入れている。

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇「学びをいかして考えよう」では、活用する場面を設定した活用型問題を掲載している。
(2) イ	◇「つながる科学」は単なる知識で終わらずに考察もできるように工夫している。
	◇単元末のコラム「世界につながる科学」などで、日常生活や社会との関連を考えることができるように工夫している。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇挿絵を随所で使用している。
(2) イ	◇図表・写真ともに随所で使用している。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇裏ページの印刷が透けないように、不透明度の高い用紙を使用している。
(2) イ	◇字体は明朝体を使用している。
ウ	◇全体で、1年生263ページ、2年生311ページ、3年生327ページで構成している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 理科

別表1

項目	4 大日本
(1) ア	A
	B
	C ◇写真・図を使用することが可能である。
	D ◇写真・図の解説などを使用することが可能である。
(2) イ	◇どんな生徒にも見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れている。

別表2

項目	4 大日本
(1) ア	◇「くらしの中の理科」「Science Press」では、減災や安全、国際理解などについての資料を掲載している。
(2) イ	◇「探求活動」では、学んだことを活用して新たな学びを切り拓いているように構成している。
ウ	◇主体的、対話的で深い学びを実現するために、話し合いの形の例示をイラストで説明している。

別表3

項目	4 大日本
(1) ア	◇挿絵を随所で使用している。
(2) イ	◇図表・写真ともに随所で使用している。

別表4

項目	4 大日本
(1) ア	◇紙質は上質で、印刷は鮮明である。
(2) イ	◇字体は明朝体を使用している。
ウ	◇製本は開きやすく、中央部がよく見えるように工夫している。 ◇全体で、1年生293ページ、2年生317ページ、3年生373ページで構成している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 理科

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 理科

別表1

項目	11 学図	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・図を使用することが可能である。
	D	◇写真・図の解説などを使用することが可能である。
(2) イ	◇色使いやレイアウトにユニバーサルデザインを取り入れている。	

別表1

項目	17 教出	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・図の使用が可能である。
	D	◇写真・図の解説などを使用することが可能である。
(2) イ	◇色覚の個人差を問わないカラーユニバーサルデザインを取り入れている。	

別表2

項目	11 学図
(1) ア	◇「サイエンスカフェ」では、単位の大きさを表す記号など、生活上の必要な知識を掲載している。
	イ ◇「探求活動」では、学んだことを活用して新たな学びを切り拓けるように構成している。
(2) ウ	◇「Can Do List」で何ができるようになったかを自己チェックすることができるように工夫している。

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇「サイエンスカフェ」では、生活について必要な知識を掲載している。
	イ ◇「ハローサイエンス」では、科学の歴史や環境についての知識を掲載している。
	ウ ◇「学習前の私」「学習後の私」で学習した成果を確かめることができるように工夫している。

別表3

項目	11 学図
(1) ア	◇挿絵を随所で使用している。
(2) イ	◇図表・写真ともに随所で使用している。

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇挿絵を随所で使用している。
	イ ◇図表・写真ともに随所で使用している。

別表4

項目	11 学図
(1) ア	◇印刷は鮮明である。
	イ ◇字体は明朝体を使用している。
(2) ウ	◇全体で、1年生264ページ、2年生280ページ、3年生272ページで構成している。

別表4

項目	17 教出
(1) ア	◇印刷は鮮明である。
	イ ◇字体は明朝体を使用している。
	ウ ◇全体で、1年生304ページ、2年生324ページ、3年生360ページで構成している。



特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 理科

別表1

項目	61 啓林館	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・図を使用することが可能である。
	D	◇写真・図の解説などを使用することが可能である。
(2) イ	◇図や写真を上部に、本文を下部にレイアウトして可読性・視認性を高めている。	

別表2

項目	61 啓林館
(1) ア	◇「みんなで探Qクラブ」では、学びを活用して身近な日常の疑問を探求している。
(2) イ	◇「部活ラボ」では身近なスポーツを科学で分析する内容を紹介している。
	ウ

別表3

項目	61 啓林館
(1) ア	◇挿絵を随所で使用している。
(2) イ	◇図表・写真ともに随所で使用している。

別表4

項目	61 啓林館
(1) ア	◇印刷は鮮明である。
(2) イ	◇字体は明朝体である。
	ウ

教科・種目名 音楽

項目	発行者名	
	17 教出	27 教芸
使用上の留意点	別表1 <p>発達のためやすに照らして、[A]～[D]すべての発達段階において、写真やイラスト、鑑賞曲を部分的に使用可能である。 3つの学習活動を色で区別している。 学習内容がわかりやすいレイアウトを工夫している。</p> <p>「Active!」「比べよう」「深めよう」で学習の定着と活用を図っている。</p>	<p>発達のためやすに照らして、[A]～[D]すべての発達段階において、写真やイラスト、鑑賞曲を部分的に使用可能である。 「表現」と「鑑賞」の二つに大きく分けられ、表現を「歌唱」と「創作」に分けて構成されている。</p> <p>「深めよう！音楽」で言語活動の充実を図っている。</p>
	別表2 <p>「夏の思い出」、「アニーローリー」やオペラ、日本の伝統音楽、ポップスなど、幅広いジャンルの音楽を掲載し、音楽の世界を広げる工夫をしている。</p> <p>楽曲に関する写真が大きく、また折込み3ページ分の「ビジュアル図鑑」が掲載している。 調べ学習のページやラップなど、興味・関心が持てるように工夫している。</p>	<p>「歌い継ごう日本の歌」のページを設け、歌謡曲を多く掲載している。また、「浜辺の歌」、「主人は冷たい土の中に」やオペラ、日本の伝統音楽など、幅広いジャンルの音楽を掲載し、音楽の世界を広げる工夫をしている。</p> <p>調べ学習のページや映画音楽など、興味・関心が持てるように工夫している。</p>
	別表3・4 <p>題材に関連する写真が大きく掲載され、ユニバーサルデザインの視点で色彩を使っている。 写真や図表を大きく使用し、視覚的支援を図っている。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに配慮している。 中心となる文字サイズが大きく、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>挿絵が多く、親しみやすいように工夫している。</p> <p>写真はやや小さく、文字での情報が豊富である。</p> <p>中心となる文字がゴシック体で見やすい。</p>
備考		

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 音楽

別表1

項目		17 教出
(1) ア	A	◇教科書に掲載されている曲を聴いたり、曲に合わせて表現したりする活動で部分的に使用できる。
	B	◇教科書に掲載されている曲を聴いたり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
	C	◇写真やイラスト等を部分的に使用できる。 ◇掲載されている曲を聴いたり、リズムにのったり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
	D	◇写真やイラスト等を部分的に使用できる。 ◇掲載されている曲を聴いたり、リズムにのったり、楽器を演奏したり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
(2) イ	◇学習活動を「うたう」「つくる」「きく」の3つに分け、色で分類されている。 ◇巻頭には、教材の配列と全学年の学習内容の関連が図式化された「学びのユニット」を掲載している。 ◇学習のねらいを左ページに明確に示し、チェック欄を設けている。 ◇曲のタイトルのフォントを大きくし、見やすいように工夫している。 ◇表現及び鑑賞の冒頭に「ACTIVE!」、「比べてみよう」「深めてみよう」を設定することで、学んだことを生かしたり、深めたりする教材を設定している。 ◇学習内容が分かりやすいシンプルなレイアウトで構成している。	

別表2

項目		17 教出
(1) ア		◇我が国の自然や四季の美しさを感じられる楽曲を掲載している。 ◇我が国の文化や伝統を感じられる楽曲を掲載している。 ◇諸外国の様々な音楽や文化を知ることができる楽曲や教材を掲載している。
	イ	◇楽曲に関係のある写真を大きく掲載している。 ◇折込を利用した3ページ構成でビジュアル図鑑として掲載し、多様な情報を見渡せるようレイアウトを工夫している。
	ウ	◇教師と生徒のキャラクターがポイントや付帯情報を紹介している。 ◇調べ学習のページや、作曲・ラップなど、多岐にわたる言語活動を掲載している。

別表3

項目		17 教出
(1) ア		◇文字は大きく、1ページの文字の量と挿絵をバランス良く配置している。
(2) イ		◇図表や写真の資料は大きく掲載され、イメージを膨らませやすく、視覚的支援の効果が高い。

別表4

項目		17 教出
(1) ア		◇背景色は白を基調とし、文字色、コントラスト共に鮮明である。 ◇色刷りは、カラーユニバーサルデザインに配慮され、落ち着いた色調である。
	イ	◇楽曲のタイトルを大きくし、見やすいように配慮している。 ◇学習目標には、ユニバーサルデザインフォントを使用している。
ウ		◇再生紙と植物油インキを使用しているとの表記がある。 ◇汚損、破損しにくい紙質である。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 音楽

別表1

項目		27 教芸
(1) ア	A	◇教科書に掲載されている曲を聴いたり、曲に合わせて表現したりする活動で部分的に使用できる。
	B	◇教科書に掲載されている曲を聴いたり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
	C	◇写真やイラスト等を部分的に使用できる。 ◇掲載されている曲を聴いたり、リズムにのったり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
	D	◇写真やイラスト等を部分的に使用できる。 ◇掲載されている曲を聴いたり、リズムにのったり、演奏したり、歌ったりする活動で部分的に使用できる。
(2) イ	◇学習活動を「歌唱」「創作」「鑑賞」の3つに分け、学習内容と各教材との関連度の大きさを色の濃さで表している。 ◇各教材には、「学習のねらい」と「音楽を形づくっている要素」を記号で示している。	

別表2

項目		27 教芸
(1) ア		◇日本の民謡や伝統音楽など、日本固有の文化を感じられる教材を掲載している。 ◇「生活や社会の中の音楽」のページを設け、生活や社会と音楽の結び付きについて知ることができる。 ◇諸外国の様々な音楽や文化について知ることができる楽曲や教材を掲載している。
	イ	◇楽曲に関連する挿絵や写真を掲載している。
	ウ	◇先生と教人の生徒のキャラクターがポイントやアドバイスを提示している。 ◇「Let's Create!」「深めよう！音楽」など、言語活動の充実を図っている。

別表3

項目		27 教芸
(1) ア		◇挿絵が豊富であり、親しみやすいように工夫している。
	イ	◇写真はイメージを膨らませやすく、視覚的支援の効果が高い。

別表4

項目		27 教芸
(1) ア		◇楽譜の背景色は白を基調とし、見やすい。 ◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
	イ	◇ゴシック体を基調としたフォントで見やすいように工夫している。
(3) ウ		◇再生紙と植物油インキを使用しているとの記載がある。 ◇汚損、破損しにくい紙質である。

教科・種目名 音楽(器楽)

項目	発行者名	
	17 教出	27 教芸
使用上の留意点	<p>別表1</p> <p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真やイラスト、演奏曲を部分的に使用することが可能である。</p> <p>楽器ごとに、奏法技術を拡大写真で解説している。</p> <p>奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。</p> <p>「Let's Play!」、「Let's Try!」、「名曲旋律集」として、発展的な楽曲を巻末に編集している。</p> <p>アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を掲載している。</p>	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真やイラスト、演奏曲を部分的に使用することが可能である。</p> <p>楽器の操作を拡大写真で示している。</p> <p>奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。</p> <p>「アンサンブル」、「名曲で Melody」として、発展的な楽曲が巻末に編集されている。</p> <p>アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を掲載している。</p>
	<p>別表2</p> <p>「アメーzing・グレイス」や「きらきら星」など親しみやすい多様な楽曲を掲載している。</p> <p>リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の7種の楽器の奏法を紹介している。</p> <p>奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。</p> <p>楽譜ごとに学習目標を明記している。</p>	<p>「かつこう」や「オーラリー」など親しみやすい多様な楽曲を掲載している。</p> <p>リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の7種の楽器の奏法を紹介している。</p> <p>奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。</p> <p>楽譜ごとに活動のためあてを明記している。</p>
	<p>別表3・4</p> <p>巻末資料にリコーダー運指表、ギターコード表が写真付きで付録されている。カラーユニバーサルデザインを取り入れて、色覚特性に配慮している。ユニバーサルデザインフォントを採用し、読みやすさに配慮している。A4変形判 表紙や製本は堅ろうである。</p>	<p>巻末資料にリコーダー運指表、ギターコード表がイラスト付きで付録されている。すべての生徒の色覚特性に配慮した紙面デザインを取り入れている。ユニバーサルデザインフォントを採用し、読みやすさに配慮している。A4変形判 開きやすい糸中とじ製本により堅ろうである。</p>
	備考	

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 音楽(器楽)

別表1

項目		17 教出
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真やイラスト等を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真やイラスト等を部分的に使用することが可能である。 ◇リコーダーと太鼓の演奏は、部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇楽器ごとに、奏法技術を拡大写真で解説している。 ◇奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 ◇「Let's Play !」、「Let's Try !」、「名曲旋律集」として、発展的な楽曲を巻末に掲載している。 ◇アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を示している。	

別表2

項目		17 教出
(1) ア		◇「アメージング・グレイス」や「きらきら星」など親しみやすい多様な楽曲を掲載している。 ◇リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の7種の楽器の奏法を掲載している。
	(2) イ	◇奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 ◇楽譜ごとに学習目標を示している。
	ウ	

別表3

項目		17 教出
(1) ア		◇カラー写真が豊富であり、楽器ごとにページ端を色分けをして編成している。
	(2) イ	◇楽器の操作を拡大写真で示している。 ◇アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を掲載している。 ◇巻末資料にリコーダー運指表、ギターコード表を写真付きで掲載している。

別表4

項目		17 教出
(1) ア		◇背景色は白を基調とし、全ページ色刷り、ページ端の色により区別できる。 ◇カラーユニバーサルデザインを取り入れて、色覚特性に配慮している。
	(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用し、読みやすさに配慮している。
(3) ウ		◇A4変形判 表紙や製本は堅ろうである。 ◇再生紙、植物油インキを使用しているとの記載がある。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 音楽(器楽)

別表1

項目		27 教芸
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真やイラスト等を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真やイラスト等を部分的に使用することが可能である。 ◇リコーダーと太鼓の演奏は、部分的に使用が可能である。
(2) イ	◇楽器の操作を拡大写真で示している。 ◇奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 ◇「アンサンブル」、「名曲でMelody」として、発展的な楽曲を巻末に掲載している。 ◇アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を示している。	

別表2

項目		27 教芸
(1) ア		◇「かっこう」や「オーラリー」など親しみやすい多様な楽曲を掲載している。 ◇リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の7種の楽器の奏法を掲載している。
	(2) イ	◇奏法技術に応じた楽曲を段階的に編成している。 ◇楽譜ごとに活動のめあてを示している。
	ウ	

別表3

項目		27 教芸
(1) ア		◇カラー写真が豊富であり、また楽器ごとにページ端を色分けをして編成し、わかりやすくなるように工夫している。
	(2) イ	◇楽器の操作を拡大写真で示している。 ◇アルトリコーダーの楽曲は、楽譜の横に運指図を掲載している。 ◇巻末資料にリコーダー運指表、ギターコード表をイラストを付している。

別表4

項目		27 教芸
(1) ア		◇背景色は白を基調とし、全ページ色刷り、ページ端の色により区別できる。 ◇すべての生徒の色覚特性に配慮した紙面デザインを取り入れている。
	(2) イ	◇ユニバーサルデザインフォントを採用し、読みやすさに配慮している。
(3) ウ		◇A4変形判 開きやすい系中とじ製本により堅ろうである。 ◇再生紙、植物油インキを使用しているとの記載がある。

教科・種目名 美術

項目	発行者名	
	9 開隆堂	38 光村
使用上の留意点	別表1	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真や色彩の学習について部分的に使用が可能である。</p> <p>テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明を加え、学習の目的を明示している。</p> <p>題材の分野をページ左上に色の帯で明示している。</p> <p>題材ごとに学習のねらいを示し、17種類のマークで明示している。</p> <p>大きなテーマごとに3冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。</p>
	別表2	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真や色彩の学習について部分的に使用が可能である。</p> <p>テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明を加え、学習の目的を明示している。</p> <p>学びの流れが一目で分かるように明確に示し、表現と鑑賞を一体的に学べる構成としている。</p> <p>題材の初めに、表現に繋がる鑑賞作品を掲載し、鑑賞が深まる問いを示している。</p> <p>題材の分野をはじめのページでまとめて表示し、題材の分野と内容をページ左上に色の帯で明示している。</p>
	別表3・4	<p>図版は鮮明で大きく、全体の色調はカラフルである。</p> <p>見出し文字の字体を色は統一されて図版の色のコントラストがはっきりさせ見やすいように工夫している。</p> <p>難しい文字にはふりがなを付す配慮をしている。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲の記載がある。</p> <p>本のサイズはA4ワイド版である。</p> <p>環境に配慮した用紙とインクを使用している。</p>
備考		<p>身近なものや風景を扱う題材を設定している。</p> <p>生徒の制作過程を細かく写真掲載し、説明文も挿入し、視覚的に整理している。</p> <p>図版は鮮明で豊富、全体の色調は落ち着いたおり、大小の図版や説明文を整然と統一感を持って配置している。</p> <p>作品を体感できる原寸大図版を掲載し、実物に近い鑑賞ができるように工夫している。</p> <p>マーク以外の文字色を統一して、文字と図版の色調バランスが取っている。字体の種類と大きさを統一し見やすいように工夫している。</p> <p>難しい文字にはふりがなを付す配慮をしている。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲の記載がある。</p> <p>本のサイズはA4版である。</p> <p>環境に配慮した用紙とエコマーク認定の植物性インクを使用している。</p>

発行者名	
116 日文	
使用上の留意点	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では写真や色彩の学習について部分的に使用が可能である。</p> <p>テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明を加え、学習の目的を明示している。</p> <p>題材の分野と活動を示すインデックスをページ左上に色で明示している。</p> <p>題材ごとに身につけたい学習の目標を示し、10種類のマークで明示している。</p> <p>大きなテーマごとに3冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。</p> <p>身近なものや風景を扱う題材を設定している。</p> <p>題材に関連する資料を、技法・色彩・鑑賞に分けて巻末に示している。</p>
	<p>図版は鮮明で豊富、全体の色調はカラフルであり、作品を体感できる原寸大図版を多く掲載し、実物に近い鑑賞ができるように高精細印刷を用いている。</p> <p>見出しは統一し、余白を活かしている図版のコントラストがはっきりしている。</p> <p>難しい文字にふりがなを付す配慮をしている。</p> <p>裏表紙に名前を書く欄の他に自分のマークを書く欄を設けている。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲の記載がある。</p>
	<p>本のサイズはA4ワイド版である。</p> <p>植物性インクと再生紙を使用している。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 美術

別表1

項目	9 開隆堂	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇観賞用の作品の大きな写真、色彩の学習については使用することができる。
	D	◇写真や色彩の学習については使用することができる。
(2) イ	◇テーマに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明をしている。 ◇題材の分野をページ左上に色の帯で明示している。 ◇題材ごとに身につけたい学習の目標を示し17種類のマークで明示している。 ◇テーマごとに3冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。 ◇「学習の目標」「学習のポイント」「造形的な視点」「安全注意」「原寸」「外国の生徒作品」「作者の言葉」「用語」「国宝」「重文」「関連情報」「二次元コード」をマークで明示している。	

別表2

項目	9 開隆堂
(1) ア	◇身近なものや風景を扱う題材を設定している。
(2) イ	◇巻末に知識・技能に特化した「学びの資料」を掲載している。
	◇生徒作品を掲載し、身近に興味・関心を抱かせるように工夫している。

別表3

項目	9 開隆堂
(1) ア	◇図版は鮮明で豊富、全体の色調はカラフルである。
(2) イ	◇大図版・部分拡大図版・原寸図版を掲載している。

別表4

項目	9 開隆堂
(1) ア	◇見出しは字体は太ゴシックと黒色で統一している。
(2) イ	◇図版のコントラストがはっきりしている。
(3) ウ	◇難しい文字にふりがなを付している。
エ	◇環境に配慮した用紙とインクを使用している。
	◇カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 美術

別表1

項目	38 光村	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇観賞用の作品の大きな写真、色彩の学習については使用することが可能である。
	D	◇写真や色彩の学習については使用することが可能である。
(2) イ	◇見出しに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明をしている。 ◇学びの流れが一目で分かるように明確に示し、表現と鑑賞を一体的に学ぶことが可能である。 ◇題材の分野をはじめのページでまとめて表示し、題材の分野と内容をページ左上に色の帯で明示している。 ◇「注意事項」「巻末資料」「道徳関連」「二次元コード」をマークで明示している。	

別表2

項目	38 光村
(1) ア	◇身近なものや風景を扱う題材を設定している。
(2) イ	◇制作過程を細かく写真掲載し、説明文も入れ、視覚的に整理している。
	◇生徒作品を掲載し、身近に興味・関心を抱かせるように工夫している。

別表3

項目	38 光村
(1) ア	◇図版は鮮明で豊富、落ち着いた色調である。
(2) イ	◇大小の図版や説明文を整然と統一感を持って配置している。

別表4

項目	38 光村
(1) ア	◇マーク以外の文字色を統一である。
(2) イ	◇文字と図版の色調バランスに配慮している。
(3) ウ	◇難しい文字にふりがなを付している。
エ	◇環境に配慮した再生紙と植物性インク使用している。
	◇カラーユニバーサルデザインに合わせた校閲

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 美術

別表1

項目	116 日文	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇鑑賞用の作品の大きな写真、色彩の学習については使用することが可能である。
	D	◇写真や色彩の学習については使用することが可能である。
(2) イ	◇見出しに続いて小見出しを付け、さらに題材ごとに学習のねらいと具体的な説明をしている。 ◇題材の分野と活動を示すインデックスをページ左上に色で明示している。 ◇題材ごとに身につけたい学習の目標を示し3種類のマークで明示している。 ◇テーマごとに3冊に分けて製本し、段階的な考え方に配慮している。 ◇「目標」「造形的な視点」「作者の言葉」「関連情報」「参照」「道徳関連」「注意事項」「図版解説」「二次元コード」をマークで明示している。	

別表2

項目	116 日文	
(1) ア	◇身近なものや風景を扱う題材を設定している。	
(2) ウ	イ	◇テーマの広がりを進めるために題材ごとに必要な参考技法を巻末に紹介している。
	ウ	◇生徒作品を掲載し、身近に興味関心を抱かせるように工夫している。

別表3

項目	116 日文
(1) ア	◇図版は鮮明で豊富、全体の色調はカラフルである。
(2) イ	◇原寸大図版を多く掲載し、高精細印刷を使用している。

別表4

項目	116 日文
(1) ア	◇見出しは統一し、余白を活かしている写真を説明文を配置している。
	イ
(3) ウ	◇難しい文字にふりがなを付している。
	エ



教科・種目名 保健体育

項目	発行者名	
	2 東書	4 大日本
別表1	<p>発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では写真やイラストを部分的に使用することが可能である。</p> <p>各章に「学習課題」「みつける」「活用する」「広げる」等のコーナーがあり、めあてを明確化している。</p> <p>巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。</p>	<p>発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では写真やイラストを部分的に使用することが可能である。</p> <p>各ページの終わりに「学習のまとめ」を掲載し、重要な言葉や学習の要点を太字で示している。各ページに学習を深めるための「学習のねらい」や活動の問いを掲載している。</p> <p>巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れなどを説明している。</p>
使用上の留意点	<p>巻頭で「オリンピック・パラリンピック」「共生」「食育」「健康と安全」「キャリア教育」を取り扱っている。</p> <p>巻末資料では、オリンピック・パラリンピックについて取り扱っている</p> <p>章末資料には、今日的な教育課題に関わる写真、イラスト、グラフ等を掲載している。</p> <p>各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。</p> <p>Dマークコンテンツは、関連する動画やシミュレーション等のウェブページにリンクしている。</p> <p>学習を導くキャラクターを登場させ、わかりやすいように工夫している。</p>	<p>巻頭では各章に関連した内容について写真を取り入れ、オリンピックやパラリンピック等の世界大会の競技について取り扱っている。</p> <p>章末資料に本文の学びを広げる写真やイラストを掲載している。</p> <p>各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。</p> <p>WEBマークは、関連する動画や資料等のウェブページにリンクしている。</p>
別表3・4	<p>親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。</p> <p>随所に写真やグラフが掲載され、解説されている。</p> <p>全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしていると記載している。</p> <p>見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用していると記載している。</p> <p>難しい漢字にはふりがな、レイアウトの飾り線やイラストの背景は優しい色を使用している。</p> <p>軽量な用紙を使用している。</p>	<p>親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用していると記載している。</p> <p>難しい漢字にはふりがな、レイアウトの飾り線やイラストの背景は優しい色を使用している。</p> <p>表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工していると記載している。</p>
備考	再生紙・植物インキを使用している。	環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。

発行者名	
50 大修館	224 学研
<p>発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では写真やイラストを部分的に使用することが可能である。</p> <p>各ページを「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の順で構成している。</p> <p>巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。</p>	<p>発達のためやすに照らして〔C〕〔D〕では写真やイラストを部分的に使用することが可能である。</p> <p>各項目を「学習の目標」「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の順で構成している。</p> <p>巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味や「ディスカッション」「ブレインストーミング」など多様な学び方を説明している。</p>
<p>巻頭では「オリンピック・パラリンピック」「共生」「SDGs」について写真を掲載している。</p> <p>各章末に学びを広げる特集資料を掲載している。</p> <p>各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。</p> <p>「web 保体情報館」では、参考情報を掲載したウェブページにリンクしている。</p> <p>学習を導くキャラクターを登場させ、わかりやすいように工夫している。</p> <p>イラストや写真はシンプルに整理されている。運動の例では、細かくイラストや写真を使用している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに配慮している。各テーマの背景には薄い着色がある。</p> <p>見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用していると記載がある。</p> <p>難しい漢字にはふりがなをふる配慮がある。</p>	<p>巻頭では各章に関連した内容について写真を掲載している。</p> <p>各章のはじめに「保健体育と情報」のコーナーがあり、健康に関する情報を掲載している。</p> <p>各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。</p> <p>ページの下に「リンク」「情報サブリ」等コーナーを作り、発展学習につなげている。</p> <p>学習を導くキャラクターを登場させ、わかりやすいように工夫している。</p> <p>イラストや挿絵を入れ、色や文字のコントラストが鮮明である。</p> <p>過去に功績があった人の写真を掲載している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p> <p>難しい漢字にはふりがなをふる配慮がある。</p>
環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。	環境に配慮した紙・インキ・印刷方式を使用しているという記載がある。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 保健体育

別表1

項目	2 東書
(1) A	
B	
C	◇写真やイラストについて使用することが可能である。
D	◇写真やイラスト・図表について使用することが可能である。
(2) イ	◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 ◇各章に「学習課題」「みつける」「活用する」「広げる」等のコーナーがあり、めあてを明確化している。 ◇1年～3年まで分けており、それぞれ前半に保健編、後半に体育編を配置している。

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇巻頭で「オリンピック・パラリンピック」「共生」「食育」「健康と安全」「キャリア教育」をテーマとした写真を掲載している。
(2) イ	◇巻末資料に、今日的な教育課題に関わる写真、イラスト、グラフ等を掲載している。 ◇各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。 ◇各章に「学習課題」があり、めあてを明確化している。 ◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。
ウ	◇巻末資料では、オリンピック・パラリンピックについて特集している。 ◇Dマークコンテンツは、関連する動画やシミュレーション等のウェブページにリンクするように工夫している。 ◇学習を導くキャラクターが登場している。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。
(2) イ	◇随所に写真やグラフが解説付きで掲載している。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇全ての生徒の色覚特性に適切するようにデザインしていると記載している。
(2) イ	◇見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用していると記載している。 ◇難しい漢字にはふりがな、レイアウトの飾り線やイラストの背景は優しい色を使用している。
ウ	◇軽量な用紙を使用している。 ◇再生紙・植物インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 保健体育

別表1

項目	4 大日本
(1) A	
B	
C	◇写真やイラストについて使用することが可能である。
D	◇写真やイラスト・図表について使用することが可能である。
(2) イ	◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 ◇各ページに学習を深めるための「学習のねらい」や活動の問いを掲載している。 ◇各ページの終わりに「学習のまとめ」を掲載している。 ◇重要な言葉や学習の要点を太字で表示している。 ◇前半に体育編、後半に保健編を配置している。

別表2

項目	4 大日本
(1) ア	◇巻末資料に本文の学びを広げる写真やイラストを掲載している。
(2) イ	◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 ◇各ページに学習を深めるための「学習のねらい」を示している。 ◇各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。
ウ	◇WEBマークは、関連する動画や資料等のウェブページにリンクするように工夫している。 ◇巻頭では各章に関連した内容について写真を取り入れ、オリンピックやパラリンピック等の世界大会の競技について掲載している。

別表3

項目	4 大日本
(1) ア	◇親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。
(2) イ	◇随所に写真やグラフが解説付きで掲載している。 ◇キーワードのイラストが統一され、チェック欄を設けている。

別表4

項目	4 大日本
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮したイラストや写真等を掲載している。
(2) イ	◇見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用していると記載している。 ◇難しい漢字にはふりがな、レイアウトの飾り線やイラストの背景は優しい色を使用している。
ウ	◇環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 ◇表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工していると記載がある。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 保健体育

別表1

項目	50 大修館
(1) ア	A
	B
	C ◇写真やイラストについて使用することが可能である。
	D ◇写真やイラスト・図表について使用することが可能である。
(2) イ	◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 ◇各ページが「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の順で構成している。 ◇前半に体育編、後半に保健編を配置している。

別表2

項目	50 大修館
(1) ア	◇各章末に学びを広げる特集資料を掲載している。
(2) イ	◇各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。 ◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味を説明している。 ◇各章に「課題をつかむ」があり、めあてを明確化している。
	◇巻頭では「オリンピック・パラリンピック」「共生」「SDGs」について写真を掲載している。 ◇学習を導くキャラクターが登場させ、わかりやすいように工夫している。 ◇「web保健情報館」では、参考となる情報を掲載したウェブページにリンクしている。

別表3

項目	50 大修館
(1) ア	◇イラストや写真はシンプルに整理されている。運動の例では、細かくイラストや写真を使用している。
(2) イ	◇随所にグラフ・表・写真・イラストが解説付きで掲載している。 ◇各ページ下の「まり下げる」では、本文のことばを詳しく解説している。

別表4

項目	50 大修館
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮していると記載している。
(3) イ	◇見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用していると記載している。 ◇難しい漢字にはふりがなを付している。 ◇各テーマの背景には薄い色を着色している。
	ウ ◇環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 保健体育

別表1

項目	224 学研
(1) ア	A
	B
	C ◇写真やイラストについて使用することが可能である。
	D ◇写真やイラスト・図表について使用することが可能である。
(2) イ	◇各章ごとに「学習の目標」「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」で構成している。 ◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味や「ディスカッション」「ブレインストーミング」など多様な学び方を説明している。 ◇前半に体育編、後半に保健編を配置している。

別表2

項目	224 学研
(1) ア	◇各章の初めに「保健体育と情報」のコーナーがあり、健康に関する情報を掲載している。 ◇章のまとめでは「生かそう」等、生活に結びついた課題を掲載している。
(2) イ	◇各章で、グラフ・表・写真・イラストを掲載している。 ◇巻頭資料「この教科書の使い方」で学習の流れや記号の意味、多様な学び方を説明している。
	◇ページの下に「リンク」「情報サブリ」等コーナーで発展的に学習できるように工夫している。 ◇巻頭では各章に関連した内容について写真を掲載している。 ◇過去に功績があった人の写真を掲載している。 ◇学習を導くキャラクターが登場させ、わかりやすいように工夫している。

別表3

項目	224 学研
(1) ア	◇親しみやすいカラーのイラストや写真を掲載している。
(2) イ	◇随所に写真やグラフが解説付きで掲載している。

別表4

項目	224 学研
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮という記載がある。 ◇色や文字のコントラストが鮮明である。
	(3) イ ◇ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇難しい漢字にはふりがなを付す配慮をしている。
ウ	◇環境に配慮した紙・インキ・印刷方式を使用するという記載がある。

教科・種目名 技術・家庭(技術分野)

項目	発行者名	
	2 東書	6 教図
別表1	<p>発達のめやすに照らして[C][D]では、写真・絵図・解説・実習などを部分的に使用が可能である。</p> <p>各編のはじめに、「この編で学ぶこと」「他教科のつながり」「技術の見方・考え方」というように学習に関連する関連する写真・絵図を掲載し、学習内容を説明している。</p> <p>小単元ごとに「目標」「キーワード」「活動」「～してみよう」「まとめよう」「自己評価」を、また各編の終わりに「学習のまとめ」を掲載している。</p> <p>22種の学習をガイドするマークでポイントを明示している。</p>	<p>発達のめやすに照らして[C][D]では、写真・絵図・解説・実習などを部分的に使用が可能である。</p> <p>各編のはじめに、この編で学ぶこと、各章で学ぶ内容、学習に関連する関連する写真・絵図、発展例を掲載し、学習内容を説明している。</p> <p>章のはじめに「めあて」「見つける」「キーワード」「ふり返る」、章のおわりに「学んだことをまとめよう」を、また編のおわりに「編のまとめ」を掲載している。</p> <p>10種の学習をガイドするマークでポイントを明示している。</p>
使用上の留意点	<p>写真や絵図や技術分野のガイダンス、巻中の「技術の工夫」「技術の匠」、巻末「用語解説」、付録「プログラミング手帳」などで、生活経験や興味・関心を広げることができる。</p> <p>実習の手順・解説は写真や絵図を多用し、横一列に表記し、「問題解決例」として、「私の工夫」を掲載している。</p> <p>「Dマーク」で端末を活用し、学習内容に関連する情報を活用できる。</p> <p>挿絵の生徒の表情や吹き出しなどでナビゲートし、生徒の気づきや考え方を導き出す工夫がある。</p>	<p>写真や絵図や技術分野のガイダンス、巻中の「技ビト」「スゴ技」、巻末「夢をかなえる技術」「博物館に行ってみよう」などで、生活経験や興味・関心を広げることができる。</p> <p>実習の手順・解説は写真や絵図を多用し、横一列に表記し、「技能チェック」を掲載している。</p> <p>「二次元コード」で端末を活用し、学習内容に関連する情報を活用できる。</p> <p>挿絵の生徒や教師の表情や吹き出しなどでナビゲートし、生徒の気づきや考え方を導き出す工夫がある。</p>
別表3・4	<p>カラー挿絵や写真・絵図を随所に使用し、重要な部分を拡大し掲載している。</p> <p>全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。</p> <p>編ごとに帯の色を変え、章と「問題解決例」などは位置を変え、側面でインデックスとして活用することが可能である。</p> <p>重要単語は大文字で表記し、難しい漢字や英語表記には、ふりがなをふる配慮がある。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>サイズはAB判、表紙は堅ろうである。</p>	<p>カラー挿絵や写真・絵図を随所に使用し、重要な部分を拡大して掲載している。</p> <p>色による区別ではなく、色の境界が識別できるように配慮している。</p> <p>編ごとに帯の色を変え、章は位置を変え、側面でインデックスとして活用することが可能である。</p> <p>重要単語は大文字で表記し、難しい漢字や英語表記には、ふりがなをふる配慮がある。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>サイズはAB判、表紙は堅ろうである。</p>
備考	<p>特別支援教育に関する校閲、色彩デザインに関する編集協力がある。</p> <p>再生紙・植物油インキを使用している。</p>	<p>特別支援教育に関する編集協力がある。</p> <p>再生紙・植物油インキを使用している。</p>

発行者名
9 開隆堂
<p>発達のめやすに照らして[C][D]では、写真・絵図・解説・実習などを部分的に使用が可能である。</p> <p>各編のはじめに「この編で学ぶこと」「小学校(中学校他教科)との関連」「編で学ぶ技術の歴史年表」のほか、関連する写真などを掲載し、学習内容を説明している。</p> <p>各小単元のはじめに「学習の目標」「調べてみよう」「ふり返り」などを、また編の終わりに「学習のまとめ」を掲載している。</p> <p>19種の学習をガイドするマークでポイントを明示している。</p> <p>写真や絵図や技術分野のガイダンス、巻中の「豆知識」「探求」、巻末の「携帯電話の利用」などで、生活経験や興味・関心を広げることができる。</p> <p>実習の手順・解説は写真や絵図を多用し、手順のポイントは作業ごとに写真や絵図を横に並べて表記している。</p> <p>「二次元コード」で端末を活用し、学習内容に関連する情報を活用できる。</p> <p>挿絵の生徒の表情や吹き出しなどでナビゲートし、生徒の気づきや考え方を導き出す工夫がある。</p> <p>カラー挿絵や写真・絵図を随所に使用し、大切な箇所を囲みや拡大で明示している。</p> <p>カラー効果が発揮できるように、色彩に関する編集している。</p> <p>編ごとに帯の色を変え、編と章は帯の長さを変え、側面をインデックスとして活用することが可能である。</p> <p>重要単語は大文字で表記し、難しい漢字には、ふりがなをふる配慮がある。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>サイズはAB判、表紙は堅ろうである。</p> <p>特別支援教育、人権教育、色覚に関する編集協力がある。</p> <p>再生紙・植物油インキを使用している。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 技術・家庭(技術分野)

別表1

項目	2 東書	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・絵図・解説・実習などを中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇各編のはじめに、見開きページで写真・絵図を掲載し、学びの内容を説明している。 ◇小単元ごとに「目標」「キーワード」「活動」「～してみよう」「まとめよう」「自己評価」などを掲載している。 ◇22種の学習マークでポイントなどを明示している。 ◇各編に「学習のまとめ」を2ページずつ掲載している。	

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇巻頭の目次には学編ごとの学習の様子がわかる写真を掲載している。 ◇巻頭で技術分野のガイダンスを18ページ掲載している。
	◇各小単元に「技術の工夫」を掲載している。 ◇学習内容にかかわる人たちのメッセージ「技術の匠」を掲載している。 ◇巻末付録に「プログラミング手帳」がある。
	◇「材料と加工」の実習例9種、生物育成の技術の実習例9種、「エネルギー変換の技術」の実習例5種、「情報の技術」の実習例12種を掲載している。 ◇材料加工・生物育成で注意点などを「問題解決」「TECH Lab」の見出しを右ページ端に表記、その内容や「問題の発見」「課題の設定」をページ上に掲載している。
	◇手順・解説解説は写真や絵図を多用し、横一列に並べて表記している。 ◇押絵のキャラクターや中学生が随時登場し、問いかけやポイントを確認できる。 ◇巻末資料に「用語解説」を掲載している。 ◇奇数ページの右下の技術分野をイメージしたフリックブックを掲載している。 ◇巻末の絵図「持続可能な未来へ」に「目標とするゴール」を掲載している。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇カラー押絵を多数掲載している。 ◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	◇絵図表・写真の説明の位置が適当である。 ◇「けがき」「切断」「部品の切削」「接合」は写真を拡大して掲載している。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇編ごとに色を変え、各章と「問題解決例」「TECH LAB」を同色の帯で位置を変え、色を変え、側面でインデックスとして活用が可能である。 ◇全ての生徒の色覚特性に適應するデザインである。
	◇本文中の重要単語は太ゴシック書体で読みやすい。 ◇本文とそれ以外の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字、英語表記には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。 ◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
(3) イ	◇AB判サイズである。 ◇再生紙、生徒の負担に配慮し、軽量な用紙を使用している。 ◇植物油インキを使用している。 ◇表紙は防水加工され、汚れにくく、堅ろうに製本している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 技術・家庭(技術分野)

別表1

項目	6 教図	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・絵図・解説・実習などを中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇各編のはじめには、学びの説明、関連ある写真を掲載。 ◇各小単元にはじめに、「めあて」「キーワード」「ふり返り」を設定している。 ◇10種の学習マークでポイントなどを明示している。 ◇各章ごとに「やってみよう」「作ってみよう」「調べてみよう」などの記載している。 ◇各章のおわりに「学んだことをまとめよう」、編のおわりに「編のまとめ」を掲載している。	

別表2

項目	6 教図
(1) ア	◇巻頭には現在、巻末には未来の都市の絵図を掲載している。 ◇技術分野のガイダンスを8ページ掲載している。 ◇「技ビト」「スゴ技」「センパイに聞いてみよう」「先輩からのアドバイス」を掲載している。
	◇各編のはじめに、見開きページで写真・絵図を掲載し、学びの内容を説明している。 ◇「材料と加工」の実習例12種、「生物育成の技術」の実習例9種、「エネルギー変換の技術」の実習例8種、「情報の技術」の実習例11種を掲載し、実習の終わりには「技術チェック」を設定している。
	◇手順・解説解説は写真や絵図を多用し、手順の配列は、内容により縦、横一列で表記している。 ◇中学生などが随時登場し、問いかけやポイントを確認できる。 ◇巻末に技術分野の学習の振り返りを掲載している。

別表3

項目	6 教図
(1) ア	◇カラー押絵を多数掲載している。 ◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	◇絵図表・写真の説明の位置が適当である。 ◇実習や機能の説明写真は重要な部分を大きく掲載している。 ◇工程は手順ごとに分けて掲載している。

別表4

項目	6 教図
(1) ア	◇ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集している。 ◇編ごとに色を変えてあり、章はページ中央に編と同じ色を使用し、側面でインデックスとして活用が可能である。
	◇本文中の重要単語は太ゴシック書体とカラーで表記している。 ◇本文と他の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
(3) イ	◇AB判サイズである。 ◇環境に配慮し、再生紙・植物性インキを使用している。 ◇表紙は防水加工され、汚れにくく、堅ろうに製本している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 技術・家庭(技術分野)

別表1

項目		9 開隆堂
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・絵図・解説・実習などを中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各編のはじめに「学習の流れ」「小学校、中学校他教科の関連」と学習内容に関連ある写真、歴史年表を掲載している。</li> <li>◇各小単元に「学習の目標」調べてみよう「考えてみよう」「ふり回り」などを掲載している。</li> <li>◇各編のおわりに「学習のまとめ」を掲載している。</li> <li>◇19種の学習マークでポイントなどを明示している。</li> </ul>	

別表2

項目		9 開隆堂
(1) ア		◇技術分野のガイダンスを11ページ掲載している。
		◇見開き右上に章に関連ある写真・絵図を掲載している。
(2) イ		◇「豆知識」「探求」を掲載している。
		◇「材料と加工」の実習例11種、「生物育成の技術」の実習例9種、「エネルギー変換の技術」の実習例5種、「情報の技術」の実習例9種を掲載している。
ウ		◇実習例と数字の文字を大きくし、実習例は同系色で塗りつぶし白抜きで表記している。
		◇手順・解説は1ページにまとめて掲載している。
		◇基本的な実習題材と制作手順のポイントは写真や絵図を作業ごとに横に並べて表記している。
		◇中学生などが随時登場し、問いかけやポイントを確認できる。

別表3

項目		9 開隆堂
(1) ア		◇カラー押絵を多数掲載している。
		◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
(2) イ		◇絵図表・写真の説明の位置が適当である。
		◇実習や機能の説明写真は重要な部分を大きく掲載している。
		◇本文中の資料提示を文字に色マークで表示している。

別表4

項目		9 開隆堂
(1)		◇デザインにカラーユニバーサルデザインの視点からの配慮をしている。
(2) ア		◇編はページ上で帯の色を変えてあり、章の帯も編と同じ色を使用し、側面でインデックスとして活用が可能である。
(3) イ		◇小単元の項目を太ゴシック書体で編と同系色で表記している。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本文中の重要単語は太ゴシック書体で表記し読みやすい。</li> <li>◇本文と他の部分の書体はポイントを変更し明記している。</li> <li>◇難しい漢字には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。</li> </ul>
ウ		◇AB判サイズである。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇環境に配慮した用紙やインキを使用している。</li> <li>◇丈夫で薄く、軽い用紙を開発し、軽量化を図っている。</li> <li>◇表紙は防水加工され、汚れにくく堅ろうに製本している。</li> </ul>

教科・種目名 技術・家庭(家庭分野)

項目	発行者名		
	2 東書	6 教図	
使用上の留意点	別表1	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や絵図・解説・実習などを部分的に使用することが可能である。</p> <p>各編のはじめには、小学校の学習のつながりと学ぶことを示し、編末に「学習のまとめ」の掲載がある。</p> <p>章のはじめに「目標」「考えてみよう」「キーワード」「まとめよう」「自己評価」を、また編の終わりに「学習のまとめ」を掲載している。</p> <p>21種の学習をガイドするマークにより、学習のポイントを明示している。</p>	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や絵図・解説・実習などを部分的に使用することが可能である。</p> <p>各編のはじめに、小学校家庭科のつながりと「自立度チェック」の掲載がある。</p> <p>各章に「めあて」「キーワード」「～してみよう」、章の終わりに「学びを生かそう」「章末のまとめ」を、また編の終わりに「学習のふり返し」を掲載している。</p> <p>13種の学習をガイドするマークにより、学習のポイントを明示している。</p>
	別表2	<p>巻頭にあるガイダンス、巻中の「せいかつメモ」、付録「防災・減災手帳」などを活用し、生活経験や興味・感心などを広げることができる。</p> <p>実習の手順・解説は写真や絵図を多用し横一列に表記し、また重要な点については「いつも確かめよう」を示すことで、生徒の自主的な確認を促している。</p> <p>「Dマーク」で端末を活用し、学習内容に関連する情報を活用できる。</p> <p>挿絵のキャラクターなどの表情や吹き出しなどでナビゲートし、生徒の気づきや考え方を導き出す工夫がある。</p>	<p>巻頭の口絵やガイダンス、巻中の「メッセージ」、巻末「暮らしの中のマーク・ラベル」などを活用し、生活経験や興味・感心などを広げることができる。</p> <p>実習の手順・解説は写真や絵図を多用し縦に表記、「どうして○○？」を示すことで、生徒の確認を促している</p> <p>「二次元コード」で端末を活用し、学習内容に関連する情報を活用できる。</p> <p>挿絵の生徒や教師の表情や吹き出しなどでナビゲートし、生徒の気づきや考え方を導き出す工夫がある。</p>
	別表3・4	<p>カラー挿絵を随所に使用し、絵図表などには文章による説明を付している。</p> <p>全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。</p> <p>編ごとに帯の色を変え、章と「実習例」などは同色で位置を変え、側面でインデックスとして活用することが可能である。</p> <p>本文中の重要単語は太文字表記、難しい漢字や英語略称には、ふりがなをふる配慮がある。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>サイズは AB 判、表紙は堅ろうである。</p>	<p>カラー挿絵を随所に使用し、絵図表などには文章による説明を付している。</p> <p>色による区別は、色の境界が識別できるように配慮している。</p> <p>編ごとに色を変え、章ごとに位置を変え、側面でインデックスとして活用することが可能である。</p> <p>本文中の重要単語は太文字でカラー表記、難しい漢字や英語略称には、ふりがなをふる配慮がある。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>サイズは AB 判、表紙は堅ろうである。</p>
備考	<p>特別支援教育に関する校閲、色彩デザインに関する編集協力がある。</p> <p>再生紙・植物油インキを使用している。</p>	<p>再生紙・植物性インキを使用している。</p>	

発行者名	
9 開隆堂	
使用上の留意点	<p>発達のためやすに照らして[C][D]では、写真や絵図・解説・実習などを部分的に使用することが可能である。</p> <p>各編のはじめに学習の内容に関連のある写真、絵図、学習前後の興味・関心の記入欄がある。</p> <p>章に「学習の目標」「～してみよう」「ふり返し」「学習のまとめ」を、また編の終わりに「学習のまとめ」を掲載している。</p> <p>11種の学習をガイドするマークにより、学習のポイントを明示している。</p>
	<p>巻頭にあるガイダンス、「豆知識」、巻末「災害から「いのちと生活」を守るために」などを活用し、生活経験や興味・感心などを広げることができる。</p> <p>実習の手順・解説は写真や絵図を多用し、横一列に表記したり、「調理方法 Q&amp;A」を示したりすることで、生徒の確認を促している。</p> <p>「二次元コード」で端末を活用し、学習内容に関連する情報を活用できる。</p> <p>挿絵のキャラクターなどの。表情や吹き出しなどでナビゲートし、生徒の気づきや考え方を導き出す工夫がある。</p>
	<p>カラー挿絵を随所に使用し、絵図表などには文章による説明を付している。</p> <p>色覚の個人差を問わず、見やすくデザイン上の配慮している。</p> <p>編ごとに色を変え、実習のページは帯を長くし、側面でインデックスとして活用することが可能である。</p> <p>本文中の重要単語は太文字表記、難しい漢字には、ふりがなをふる配慮がある。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>サイズは AB 判、表紙は堅ろうである。</p>
備考	<p>特別支援教育、人権教育、色覚に関する編集協力がある。</p> <p>環境に配慮して用紙やインキを使用している。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 技術・家庭(家庭分野)

別表1

項目	2 東書
(1) ア	A B C ◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。 D ◇写真・絵図・解説・実習を中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇小單元ごとに「目標」「キーワード」、「まとめよう」「自己評価」を掲載している。 ◇21種の学習マークでポイントなどを表記している。 ◇各編に2ページの「学習のまとめ」を、各小單元ごとに「～してみよう」を設定し掲載している。

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇巻頭で家庭分野のガイダンスを14ページ掲載している。 ◇実習における注意点を2ページ掲載している。 ◇各小單元に「せいかつメモ」を掲載している。 ◇調理・制作で大切なことを「いつも確かめよう」の見出しを右ページ端に表記している。 ◇学習内容にかかわる人たちのメッセージ「プロに聞く」を掲載している。 ◇巻末付録に「防災・減災手帳」がある。
(2) イ	◇各編のはじめに、見開きページで写真・絵図を掲載し、学びの内容を説明している。 ◇調理実習例52種(実習例と組み合わせ調理例、参考例)を掲載している。 ◇制作実習例16種と難易度を挿絵で表記している。
ウ	◇手順・解説解説は写真や絵図を多用し、横一列に並べて表記している。 ◇挿絵のキャラクターや中学生が随時登場し、問いかけやポイントを確認できる。 ◇巻末に技術分野や他メモ教科などとの学習のつながりを記載している。 ◇選択課題を設定している。 ◇ページの右下に家庭分野をイメージしたフリックブックを掲載している。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。 ◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
(2) イ	◇絵図表・写真の説明の位置が適当である。 ◇実物大の写真を掲載している箇所がある。

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇編ごとに色を変え、「章」「実習例」「確かめてみよう」は編と同色を使用し、配置する位置を変えてあり、側面でインデックスとして活用が可能である。 ◇全ての生徒の色覚特性に適應するデザインを採用している。
(2) イ	◇本文中の重要単語は太ゴシック書体、本文と他の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字には異なる書体のふりがなをふる配慮がある。 ◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。
ウ	◇AB判サイズである。 ◇再生紙、生徒の負担に配慮し、軽量な用紙を使用している。 ◇植物油インキを使用している。 ◇表紙は防水加工され、汚れにくく堅ろうに製本している。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 技術・家庭(家庭分野)

別表1

項目	6 教図
(1) ア	A B C ◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。 D ◇写真・絵図・解説・実習を中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇家庭分野のガイダンスを8ページ掲載している。 ◇編のはじめに「自立度チェック」を掲載している。 ◇各小單元各章に「めあて」「キーワード」「～してみよう」「ふり返る」を設定している。 ◇13種の学習マークでポイントなどを明示している。

別表2

項目	6 教図
(1) ア	◇巻頭の口絵に特定に時期に行われる行事を掲載している。 ◇「メッセージ」「センパイに聞く」により、学習にかかわりのある人たちからの内容を掲載している。 ◇巻末の口絵に「暮らしの中のマーク・ラベル」を掲載している。
(2) イ	◇各編のはじめに、見開きページで写真・絵図を掲載し、学びの内容を説明している。 ◇調理実習例41種(実習例と組み合わせ調理例、参考例)を掲載している。 ◇制作実習例11種(実習例と再利用例)を掲載している。 ◇各編のおわりに「学びを生かそう」「学習の振り返り」を掲載している。
ウ	◇手順・解説解説は写真や絵図を多用し、縦に並べて表記している。 ◇挿絵のキャラクターや中学生などが随時登場し、問いかけやポイントを確認できる。 ◇巻末に家庭分野の学習の振り返りを掲載している。

別表3

項目	6 教図
(1) ア	◇カラー挿絵を多数掲載している。 ◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
(2) イ	◇絵図表・写真の説明の位置が適当である。 ◇本文中の図表示の色と、各編を示す色と同系色を使用する工夫がある。

別表4

項目	6 教図
(1) ア	◇「～してみよう」の囲み罫線の色と、各編を示す色と同系色を使用する工夫がある。 ◇編ごとに見出し等の色を変えてあり、側面でインデックスとして活用が可能である。 ◇ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集している。
(2) イ	◇「～してみよう」を編と同じ色で編みかけし、白抜き文字で表記している。 ◇本文中の重要単語は太ゴシック書体とカラーで表記している。 ◇本文と他の部分の書体はポイントを変更し明記している。 ◇難しい漢字には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
ウ	◇AB判サイズである。 ◇環境に配慮し、再生紙・植物性インキを使用している。 ◇表紙は防水加工され、汚れにくく堅ろうに製本している。



特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 技術・家庭(家庭分野)

別表1

項目	9 開隆堂	
(1) ア	A	
	B	
	C	◇写真・絵図を部分的に使用することが可能である。
	D	◇写真・絵図・解説・実習を中心に部分的に使用することが可能である。
(2) イ	<p>◇各編のはじめに「学習の内容」と関連ある写真、絵図、学習前後の興味・関心の記入欄がある。</p> <p>◇各章に「学習の目標」「～してみよう」「ふり返り」「学習のまとめ」を掲載している。</p> <p>◇各編の終わりに「学習のまとめ」を掲載している。</p> <p>◇11種の学習マークにより、学習ポイントなどを明示している。</p>	

別表2

項目	9 開隆堂
(1)	◇巻頭に家庭分野のガイダンスを14ページ掲載(絵図も含む)している。
(2) ア	◇巻末に「災害から「いのちと生活」を守るために」を7ページ掲載している。
	◇各ページの下に「豆知識」、随所に「先輩からのエール」を掲載している。
	◇見開きページ右上に、章に関連する写真を絵図を表記している。
イ	◇調理実習例44種(実習例と組み合わせ調理例、参考例)を掲載している。
	◇制作実習例11種(実習例と応用例)を掲載している。
	◇調理の実習例のページの下部に調理方法Q&Aを掲載掲載している。
ウ	◇手順・解説解説は写真や絵図を多用し、横一列に表記している。
	◇挿絵キャラクターや中学生が随時登場し、問いかげやポイントを確認している。

別表3

項目	9 開隆堂
(1)	◇カラー挿絵を多数掲載している。
(2) ア	◇ナビゲートやポイントなどを吹き出しや囲みで表記している。
	◇絵図表・写真の説明の位置が適当である。
イ	◇本文中の図表示の色と、各編を示す色とに同系色を使用する工夫がある。

別表4

項目	9 開隆堂
(1)	◇デザインにカラーユニバーサルデザインの視点からの配慮がある。
(2) ア	◇編ごとに色を変え、編のはじまりは全面に同色の帯、実習のページは背景写真や同色の帯を長くし、側面でインデックスとして活用が可能である。
	◇本文中の重要単語は太ゴシック書体で表記している。
(3) イ	◇本文と他の部分の書体はポイントを変更し明記している。
	◇難しい漢字には異なった書体のふりがなをふる配慮がある。
ウ	◇A4判サイズである。
	◇環境に配慮した用紙やインキを使用している。
	◇丈夫で薄く、軽い用紙を開発し、軽量化を図っている。
	◇表紙は防水加工され、汚れにくく堅ろうに製本している。

教科・種目名 英語

項目	発行者名	
	2 東書	9 開隆堂
使用上の留意点	別表1 発達のためやすに照らして、[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。 活動をロゴマークと色で区別し、基本学習は見出しと同じ色で示している。 学習の1単位を見開き構成とし、左に本文と新出語句、右に聞き取りや練習問題を配置している。長文は1年2学期以降に取り扱っている。 1年の初めは小学校との接続のために既習の単語や自己紹介を配置している。	発達のためやすに照らして[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。 各章の学習の流れを統一して編成している。 学習の1単位を見開き構成にしている。 長文は2年から取り扱っている。  1年の初めは小学校との接続のために既習の単語や自己紹介を配置している。
	別表2 日本の文化、世界の食文化、世界遺産、SDGsなどのテーマを取り入れている。アルファベットはイラスト入りの単語とともに導入している。  各 Lesson の初めにイラストによる導入を図っている。  イラストのナビゲーター、アクセントのカラー表記、新出語句のチェック欄等を取り入れている。	日本の文化、世界の国々、職場体験、SDGsなどのテーマを取り入れている。アルファベットはイラスト入りの単語とともに導入している。  各 Lesson の初めに写真による導入を図っている。  イラストのナビゲーター、アクセントのカラー表記、新出語句のチェック欄等を取り入れている。
	別表3・4 巻末にはローマ字の書き方、発音の仕方等を解説している。  ユニバーサルデザインフォントであるとの記載がある。  A4判 表紙は堅ろうである。	巻末にはローマ字・文の書き方、不規則動詞活用表、身の回りの英語表現等を表記している。  カラーユニバーサルデザインの視点から生徒が見やすい配慮をしているとの記載がある。  AB判 表紙は堅ろうである。
	備考	

発行者名	
15 三省堂	17 教出
発達のためやすに照らして[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。 活動をデザインと色で区別し、基本学習は学期ごとに同色で示している。 学習の1単位を見開き構成とし、1年第4課以降、基本的に左に本文と基本文、右に活動と練習問題をそれぞれの記号を付して表示している。 1学期は聞き取りを導入として配置している。	発達のためやすに照らして[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。 活動をデザインと色で区別し、基本学習は目次と同じ色で示している。 学習の1単位を見開き構成とし、目標を明記している。1年第4課以降、基本的に左に本文、右に基本文と活動をそれぞれの記号を付して表示している。 1年の初めに小学校の振り返りのための会話表現を取り上げている。
巻頭には世界の「ありがとう」、日本や外国の文化、外国の学校生活や様子、車いすバスケ、環境問題などのテーマを取り入れている。アルファベットはイラスト入りの単語とともに導入している。活字体も記載している。 英語のしくみをイラスト付きで取り上げている。 各課の扉ページで写真やイラストによる導入を図っている。  イラストのナビゲーター、アクセントの表記、新出語句のチェック欄などを取り扱っている。1年第3課までは一部語句に意味を記している。	ビンゴ、すごろく、日本の文化、外国の学校生活、料理、ピクトグラム、動物園、盲導犬などのテーマを取り入れている。アルファベットは簡潔に記載している。  1年第4課以降各課の扉ページで写真と登場人物の問いかけによる導入を図っている。  イラストのナビゲーター、アクセントのカラー表記、新出語句のチェック欄、音読回数チェック欄などを取り扱っている。
本文に関連した写真、巻末には付録、学年の目標とチェック欄を付している。また、ページ端にアルファベットの見出しを付けている。  カラーユニバーサルデザインに配慮して編集し、見やすいユニバーサルデザインフォントを使用していると記載している。	巻頭には本文に関連した全面的な写真、巻末には切り離して使えるカード、学年毎の到達目標とチェック欄、赤色マスキングシートつき資料を付けている。また、ページ端にアルファベットの見出しを付けている。  色覚の個人差を問わず、より多くの人に使いやすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用していると記載している。
AB判 表紙は堅ろうである	AB判 表紙は堅ろうである。

教科・種目名 英語

項目	発行者名	
	38 光村	61 啓林館
使用上の留意点	別表1	<p>発達のためやすに照らして、[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。</p> <p>活動と学習方法を色やデザインで区別している。基本学習は同じ色で示している。</p> <p>学習の1単位を見開き構成とし、基本的に左に本文、右に基本文と活動をそれぞれの記号を付して表示している。長文は1年の最後に取り上げている。各課に目標を明記している。</p> <p>1年の初めに聞き取りやゲームを配置し、小学校の学習と連携している。</p>
	別表2	<p>点つなぎや早口言葉、日本と外国の学校生活、日本の文化、パーティー、世界遺産、ロボットなどを取り入れている。</p> <p>アルファベットはイラスト入りの単語とともに導入している。</p> <p>ストーリー性のある内容を取り上げている。</p> <p>各課の扉ページでイラストや写真による導入を図っている。</p> <p>イラストのナビゲーター、アクセントのカラー表記、新出語句のチェック欄、音読回数チェック欄などを取り扱っている。学習手順を示している。</p>
	別表3・4	<p>巻頭末には学習の目標や本文に関連したイラストや地図、巻末には帯教材、付録を付している。</p> <p>カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザイン書体を採用していると記載している。</p> <p>AB判 表紙は堅ろうである。</p>
備考		<p>発達のためやすに照らして、[C][D]ではイラストや写真、アルファベット、歌等を部分的に使用することが可能である。</p> <p>活動をデザインと色で区別し、基本学習は目次と同じ色で示している。</p> <p>学習の1単位を見開き構成とし、基本的に左に本文と「聞く」、右に基本文とその他の活動をそれぞれの記号を付して表示している。長文は1年の最後の課以降に取り上げている。</p> <p>1年の初めに小学校の振り返りのための聞き取りを配置している。</p> <p>トリックアート、外国の学校生活や食べ物、旅行、日本の文化やマンガなどを取り入れている。</p> <p>アルファベットはイラスト入りの単語とともに導入している。</p> <p>2、3年生は各課の扉ページで写真による導入を図っている。</p> <p>イラストのナビゲーター、アクセントのカラー表記、新出語句のチェック欄などを取り扱っている。</p> <p>巻頭には本文に関連した写真・イラスト、巻末には、役に立つ表現、ローマ字表、付録、目標とチェック欄が付いている。ページ端にアルファベットの見出しを付している。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを採用していると記載している。</p> <p>AB判 表紙は堅ろうである。</p>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 英語

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 英語

別表1

項目	2 東書
(1) A	
(1) B	
(1) C	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り等を部分的に使用することが可能である。
(1) D	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り、会話文や基本練習等を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動をロゴマークと色で区別し、見出しは章ごとに同じ色で示している。</li> <li>巻頭で学習の見通しをもたせ、巻末で自己評価ができるよう構成している。</li> <li>学習の1単位が見開き2ページで構成している。</li> <li>基本的に左ページに本文と新出語句、右ページに聞き取りや練習問題を配置している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本編冒頭に導入部(1年6ページ、2・3年2ページ)がある。</li> <li>1年は自己紹介の「聞く」、「話す」から開始、本文は話者を示した会話表記である。</li> <li>文法のまとめは重要部分を太字や色で表示している。</li> <li>「書く」の初出は自己紹介文で、練習欄は4線英語罫である。</li> <li>基本学習単元は同じ登場人物の交流や出来事を題材に展開している。</li> </ul>

別表1

項目	9 開隆堂
(1) A	
(1) B	
(1) C	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り等を部分的に使用することが可能である。
(1) D	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り、会話文や基本練習等を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動をロゴマークと色で区別し、見出しは章ごとに同じ色で示している。</li> <li>各章の学習の流れを「Scenes」、「Think」、「Retell」、「Interact」の順に構成している。</li> <li>学習の1単位が見開き2ページで構成されている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本編冒頭に導入部(1年15ページ、2・3年3ページ)がある。</li> <li>1年は自己紹介の「聞く」、「話す」から開始し、本文は話者を示した会話表記である。</li> <li>文法のまとめは英語のしくみを色で表示している。</li> <li>「書く」の初出は自己紹介文で、練習欄は4線英語罫である。</li> <li>基本学習単元は同じ登場人物の交流や出来事を題材に展開している。</li> </ul>

別表2

項目	2 東書
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材に自己紹介、スピーチ、道案内、手紙の書き方、体の不調、レストランでの注文等を取り扱っている。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材に日本文化(祭、落語、相撲、俳句等)、世界遺産、SDGs、世界の食文化を取り扱っている。</li> <li>巻末の単語集はカラーイラスト付きで編集している。</li> <li>動物のナビゲーターにより注意事項や情報を提供している。</li> <li>1年の新出語句にカラーのアクセント記号を付している。</li> <li>各課の扉ページに内容と関連のある絵や写真と導入の問いかけがある。</li> </ul>
ウ	

別表2

項目	9 開隆堂
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材に自己紹介、曜日や天気、道案内、インタビュー、店内放送、レストランでの注文等を取り扱っている。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材に日本文化、世界の国々、職場体験、SDGs、世界の食文化、伝記などを取り扱っている。</li> <li>巻末に英語の歌、アクションカードを付録としている。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふくろうのナビゲーターにより注意事項や情報を提供している。</li> <li>新出語句にカラーのアクセント記号を付している。</li> <li>各課の扉ページに内容と関連のある写真と到達目標を提示している。</li> </ul>

別表3

項目	2 東書
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどのページにカラー写真やイラストを掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の資料編にはローマ字の書き方、発音の仕方、身の回りの英語表現がイラスト付き解説している。</li> </ul>

別表3

項目	9 開隆堂
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどのページにカラー写真やイラストを掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末資料はローマ字・文の書き方、不規則動詞活用表、身の回りの英語表現等が表記されている。行動場面をイラストで表したアクションカードを付録としている。</li> </ul>

別表4

項目	2 東書
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ページを色刷りにし、ページ端の色により区別している。</li> <li>軽量な用紙を使用していると記載している。</li> <li>色覚特性に適應するデザインであることを記載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを採用していると記載がある。</li> <li>1年本編の89%のページが手書き文字に近いフォントで読みやすいように工夫している。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生紙、植物油インキを使用していると記載されている。</li> <li>A4判 表紙は堅牢である。</li> </ul>

別表4

項目	9 開隆堂
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ページが色刷り、ページ端の色により区別している。</li> <li>カラーユニバーサル視覚から生徒が見やすい配慮をしているとの記載がある。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>書かれている内容が読み取りやすくなる配慮がなされているとの記載がある。</li> <li>二次元コードを読み取ると音声による学習支援のウェブページに接続することをわかりやすく示している。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した用紙やインキを使用していると記載されている。</li> <li>AB判 表紙は堅ろうである。</li> </ul>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 英語

別表1

項目	15 三省堂	
(1) ア	A	
	B	
	C	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り等を部分的に使用できる。
	D	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り、会話文や基本練習等を部分的に使用できる。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇活動をデザインと色で区別し、基本学習は学期ごとに色分けし、目次にも同じ色で明示している。</li> <li>◇学習手順の解説(2ページ)がある。</li> <li>◇本編冒頭に導入部(1年8ページ、2、3年生2ページ)を設けている。</li> <li>◇練習は「聞く」「話す」「書く」「練習問題」の順に示している。</li> <li>◇練習欄は4線英語罫を掲載している。</li> <li>◇学習の1単位を見開きで構成している。</li> <li>◇第1課から第3課までは聞き取りで導入、第4課以降は基本的に左ページに本文と基本文、右ページに活動と練習問題を配置している。</li> </ul>	

別表2

項目	15 三省堂
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材にあいさつ、自己紹介、感賞、天気、日本の文化、会話、手紙の書き方、職場体験、修学旅行などを取り上げている。</li> <li>◇1年では巻末にローマ字表(ヘボン式)、筆記体を掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇導入部に行事、誕生日、時間割、一日の生活など聞き取り、辞書の使い方を取り上げている。</li> <li>◇題材にアメリカの学校生活、環境問題、人権問題、外国の文化、マンガ、職業などを取り上げている。</li> <li>◇アルファベットは文字とイラスト入りの単語とともに導入している。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ペンギンとシロクマのナビゲーターにより注意事項や情報を提供している。</li> <li>◇各課の扉ページに内容と関連のある絵や写真と問いかけしている。</li> <li>◇テーマ毎に英単語をまとめたページを掲載している。</li> <li>◇1年の新出語句の全語句にアクセント記号を付している。</li> <li>◇読み物教材の新出語句には日本語の意味を記載している。</li> <li>◇巻末にロールプレイスーツを付けている。</li> </ul>

別表3

項目	15 三省堂
(1) ア	◇本編中1年96%、2年97%、3年91%のページにイラストまたはカラー写真を掲載している。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇巻頭は内容に関連した写真やテーマ毎の写真を掲載している。(1年世界の「ありがとう」、2年文化、3年偉人の言葉)</li> <li>◇本編中に「ワードバンク」としてテーマ毎の単語をイラスト付きで紹介している。(1年動物、食べ物、身近なもの、気持ち、動作等、2年形容詞、動作、文化、3年気持ち、動作、環境、社会)</li> <li>◇各課の扉ページに、課の内容に関連した写真やイラストを掲載している。</li> <li>◇巻末付録の単語はページ端に見出しを付している。</li> </ul>

別表4

項目	15 三省堂
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ページ端の色によりサイドから識別できるようにしている。</li> <li>◇カラーユニバーサルデザインに配慮と記載がある。</li> </ul>
(2) イ	◇1年本編では94%ページが手書き文字に近いフォントで表記しわかりやすいように工夫している。
(3) ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ユニバーサルデザインフォントを採用と記載がある。</li> <li>◇環境にやさしい用紙、植物油インクを使用と記載がある。</li> <li>◇AB判、表紙は堅牢である。</li> </ul>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 英語

別表1

項目	17 教出	
(1) ア	A	
	B	
	C	イラストや写真、アルファベット、ゲーム、歌、聞き取り等を部分的に使用することが可能である。
	D	イラストや写真、アルファベット、ゲーム、歌、聞き取り、会話文や基本練習等を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇活動をデザインと色で区別している。課ごとに色分けし、目次も同じ色で明示している。</li> <li>◇各ページに目標を提示している。</li> <li>◇本編冒頭に導入部(1年10ページ、2、3年生5ページ)を設けている。</li> <li>◇練習は「練習問題」「聞く」「話す」の順に示している。</li> <li>◇練習欄は4線英語罫を掲載している。</li> <li>◇文法のまとめは重要部分を太字や色で表示している。</li> <li>◇学習の1単位を見開きで構成している。</li> <li>◇第1課から第3課までは見開きで会話になっている部分があり、単語に日本語訳を付している。また、第4課以降は、基本的に左ページに本文、右ページに基本文と活動を配置している。</li> </ul>	

別表2

項目	17 教出
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材に自己紹介、あいさつ、標識、ピクトグラム、日本文化、会話、旅行、職場体験、日記の書き方、辞書の使い方(全学年)を取り上げている。</li> <li>◇1年では巻頭にローマ字表(ヘボン式)、2年の巻末に筆記体を掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇導入部に様々な場面での会話、ビンゴ、すごろくを取り上げている。</li> <li>◇題材に世界で活躍する人々、学校生活の違い、料理、動物園、環境問題、エネルギー、デザイン製品、ハロウィン、マンガ家、人権問題を取り上げている。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇犬のナビゲーターにより注意事項や情報を提供している。</li> <li>◇1年4課以降、各課の扉ページに内容と関連のある写真と質問を掲載している。</li> <li>◇テーマ毎に英単語をまとめたページを掲載している。</li> <li>◇巻末に切り離しカードを付録している。</li> <li>◇1年の新出語句の全語句にカラーのアクセント記号を付している。</li> <li>◇読み物教材の新出語句には日本語の意味を記載している。</li> </ul>

別表3

項目	17 教出
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本編中1年94%、2年94%、3年90%のページにイラストまたはカラー写真を掲載している。</li> <li>◇活動以外のマークの色や基本文の地の色は同じ色で示しており、ページ内の色調をそろえている。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇巻頭に課に関連する見開き大の写真(1年動物、2年自然、3年花)、1年の巻末には場所や時を表すイラストを掲載している。</li> <li>◇巻末資料に切り離して使えるカードを採用している。</li> <li>◇本編中に参考資料として写真を掲載している。</li> <li>◇1年第3課以降、各課の扉ページに課の内容に関連した写真を掲載している。</li> <li>◇巻末付録の単語はページ端に見出しを付している。</li> </ul>

別表4

項目	17 教出
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全ページを色刷りしている。</li> <li>◇ページ端の色によりサイドから識別できるように工夫している。</li> <li>◇カラーユニバーサルデザインに配慮と記載がある。</li> </ul>
(2) イ	◇1年本編では91%のページが手書き文字に近いフォントで表記し読みやすいように工夫している。
(3) ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ユニバーサルデザインフォントを使用と記載がある。</li> <li>◇環境にやさしい再生紙、植物油インクを使用と記載がある。</li> <li>◇AB判、表紙は堅牢である。</li> </ul>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 英語

別表1

項目	38 光村
(1) A	
B	
C	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り等を部分的に使用することが可能である。
D	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り、会話文や基本練習等を部分的に使用することが可能である。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇活動をデザインと英語で区別し、基本学習の色は統一している。</li> <li>◇学習方法を記号と英語で、学習の手順もデザインと日本語で提示している。</li> <li>◇英語学習の目的(2ページ)と学期毎の学習目標(2ページ)を提示、2、3年生は学び方ガイドも提示している。</li> <li>◇各課の初めに目標を提示している。</li> <li>◇練習欄は4線英語罫、一部なぞり書きができるように工夫している。</li> <li>◇練習は「聞く」「話す」「書く」の順に統一している。</li> <li>◇文法のまとめは重要部分を色と形の両面で区別できるように工夫している。</li> <li>◇文末の付録中に英語のしくみを絵や色・形で説明している。(3ページ)</li> <li>◇学習の1単位を見開きで構成している。</li> <li>◇基本的に左ページに本文、右ページに基本本文と活動を配置している。</li> </ul>

別表2

項目	38 光村
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材に自己紹介、あいさつ、日本の文化(正月、浮世絵等)、職業体験、防災、会話、体調、単位、手紙の書き方、旅行、辞書の使い方を取り上げている。</li> <li>◇1年では巻末にローマ字表(ヘボン式)、筆記体を掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇導入部に会話時のポイント、単語の聞き取り、点つなぎ、フォニックス、早口言葉を取り上げている。</li> <li>◇題材に世界のあいさつ、日本と世界の学校生活、パーティー、人権(戦争、平和、生き方、防災等)、世界で活躍する人々、絵文字、世界遺産、ロボット、環境問題、絶滅危惧種を取り上げている。</li> <li>◇アルファベットは文字とイラスト入りの単語とともに導入している。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇オットセイや鳥のナビゲーターにより注意事項や情報を提供している。</li> <li>◇各課の扉ページに内容に関連のあるイラストや写真、ストーリーの聞き取りを配置している。</li> <li>◇テーマ毎に英単語をまとめたページと「英語のしくみ」のページを掲載している。</li> <li>◇1年の新出語句の全語句にカラーのアクセント記号を付している。</li> <li>◇内容にストーリー性、巻末にストーリーの振り返りを設定している。</li> </ul>

別表3

項目	38 光村
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本編中1年100%、2年98%、3年98%のページにイラストまたはカラー写真を掲載している。</li> <li>◇基本学習の色は統一している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇巻頭は英語学習の目的を示す写真、巻末はイラストを使ったストーリーの振り返りや英語のしくみ、動作を表すイラスト、本編に関連する国の地図を掲載している。</li> <li>◇各課の扉に、課の内容に関連した写真やイラストを掲載している。</li> <li>◇巻末単語リストで、小学校で学習した単語にマークを付している。</li> </ul>

別表4

項目	38 光村
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全ページを色刷りとしている。</li> <li>◇ページ端の色の有無によりサイドから識別できるように工夫している。</li> <li>◇カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から専門家の校閲実施と記載がある。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇1年本編では98%のページが手書き文字に近いフォントで表記し見やすいように工夫している。</li> <li>◇日本語の小さな文字にはユニバーサルデザインを採用と記載がある。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇環境に配慮した紙、植物油インクを使用と記載がある。</li> <li>◇AB判、表紙は堅ろうである。</li> </ul>

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 英語

別表1

項目	61 啓林館
(1) A	
B	
C	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り等を部分的に使用が可能である。
D	イラストや写真、アルファベット、イラスト入りの単語、歌、聞き取り、会話文や基本練習等を部分的に使用が可能である。
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇活動をデザインと色で区別している。基本学習は課ごとに色分けし、目次も同じ色で明示している。</li> <li>◇各課の初めに目標を提示している。</li> <li>◇本編冒頭に導入部(1年16ページ)を設定している。</li> <li>◇活動練習は「聞く」「話す」「書く」の順に示している。</li> <li>◇練習欄は4線英語罫で、一部なぞり書きができるように工夫している。</li> <li>◇文法のまとめは重要部分を太字や色で表示している。</li> <li>◇学習の1単位を見開きで構成している。</li> <li>◇基本的に左ページに本文と「聞く」活動、右ページに基本本文とその他の活動を配置している。</li> </ul>

別表2

項目	61 啓林館
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材に自己紹介、時刻、カードや手紙の書き方、会話、旅行、体調、天気、夢、日本文化を取り上げている。</li> <li>◇1年では巻末にローマ字表(ヘボン式)、筆記体を掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇題材にトリックアート、外国の学校生活、ヒーロー、外国の様子・祭り、食事、職業、人権学習(手話、防災、戦争、介助犬、ユニバーサルデザイン、点字ブロック)、ジェスチャー、偉大な人物などを取り上げている。</li> <li>◇巻末にづづりと発音をイラストとともに掲載している。</li> <li>◇「書く」の初めは一部なぞり書きができるように工夫している。</li> <li>◇アルファベットは文字とイラスト入りの単語とともに導入している。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇鳥のナビゲーターにより注意事項や情報を提供している。</li> <li>◇2、3年生では、各課の扉ページに内容に関連する写真と質問を掲載している。</li> <li>◇テーマ毎に英単語をまとめたページを掲載している。</li> <li>◇1年の新出語句の全語句にカラーのアクセント記号を付している。</li> <li>◇読み物教材の新出語句には日本語の意味を記載している。</li> </ul>

別表3

項目	61 啓林館
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本編中1年97%、2年92%、3年92%のページにイラストまたはカラー写真を掲載している。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇表紙に風景の写真、巻頭は本編に関連する国の地図と本編に関連する写真やイラスト、巻末に写真やイラスト(1年絵単語、2年前置詞、3年日本文化)を掲載している。</li> <li>◇2、3年生は各課の扉ページに、課の内容に関連した写真を掲載している。</li> <li>◇2年生以降、各課ごとに課に関連した情報とともに写真やイラスト掲載している。</li> <li>◇巻末付録の単語はページ端に見出しを付している。</li> </ul>

別表4

項目	61 啓林館
(1) ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全ページを色刷りとしている。</li> <li>◇ページ端の色によりサイドから識別できるように工夫している。</li> <li>◇個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを使用と記載がある。</li> </ul>
(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇1年本編では96%のページが手書き文字に近いフォントで表記している。</li> <li>◇見やすいユニバーサルデザインフォントを採用と記載がある。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇再生紙、植物油インクを使用と記載がある。</li> <li>◇AB判、表紙は堅ろうである。</li> </ul>

教科・種目名 道徳

項目	発行者名	
	2東書	17 教出
使用上の留意点	別表1 発達のためやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 気づかせたいこと、考えさせたいことを視覚的にも理解できるように挿絵が補助をしている。 「考えよう」「見つめよう」によって思考の流れを示している。 内容項目をピクトグラムによって各教材に示している。 インターネットによる資料補充の紹介をしている。  難語について脚注を付けている。	発達のためやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 巻頭に学び方の手順を説明している。  「まなびリンク」によって興味を広げられるように工夫している。  難語について脚注を付けている。
	別表2 家族、学級を題材としたものが多く、実生活に結び付けて考えることができるように工夫している。 経験のあるような題材を取り上げることで、身近な人や出来事に対して、自分やその人の思いを考えることができるように工夫している。 「自分を見つめよう」の項目により、振り返りができるように工夫している。	スポーツ選手や、話題の人のエピソードを交えた教材を使い、イメージを持ちやすく工夫している。 1年生では学校で起こりうるような題材を取り上げ、3年生では視野を社会に広げた題材を取り扱っている。  「問い」と「道しるべ」によって思考の流れを作っている。「やってみよう」ではロールプレイングにより表現して理解する手段を示している。
	別表3・4 挿絵は淡い色彩である。 写真は大きめである。キャプションを適切につけている。 文字の大きさは適切である。  用紙が薄く黄色みがかっていて目に対する刺激を抑えている。 色覚特性に適應するデザイン、ユニバーサルデザインフォントの採用、軽量用紙採用している。	写真のサイズを小さめにし、多用している。 文字は大きめで読みやすい。 行間は適切である。  カラーユニバーサルデザインへの配慮、ユニバーサルフォントを採用している。
備考		

発行者名	
38 光村	116 日文
発達のためやすに照らして[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 挿絵・写真を多用し、内容理解を視覚的に支援している。 インタビュー形式の題材では、イラストによる会話の区別を示している。 同ページでも重ねてふり仮名をふる配慮をしている。  各教材の二次元コードから参考資料が入手できるように工夫している。  内容項目をピクトグラムによって各教材に示している。 家庭生活、学校生活、社会生活において身近な分野での話題を取り扱っている。 携帯電話等のトラブルについて取り扱っている。 著名人の詩を取り扱うなど、教材について身近に考えられるように工夫している。  「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」と思考の手順を示している。 教材で考えたことを「深めたいむ」により、更に一般化させて考えさせるように工夫している。	発達のためやすに照らして[A]から挿絵を部分的に、[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 別冊の「道徳ノート」には教材ごとに自己評価欄があり、学習の振り返りができるように工夫している。 各教材の題目の下に、登場人物についてイラストと名前を示し、わかりやすくするように配慮している。  二次元コードを読み取ることでインターネットを経由して学習の助けとなる画像、動画、クイズ等を入手できるように工夫している。  各教材の最後に「考えてみよう」「自分に+1」という項目で振り返りを促し、実生活へと思考できるように工夫している。  各教材の最後に、「考えてみよう」「自分に+1」という項目で振り返りを促し、思考力や判断力を高め、実生活へつなげる工夫をしている。
挿絵は淡い色彩である。 題材に合わせた絵を選択している。 写真にキャプションを付けている。 説明・題名(ゴシック体)、本文(明朝体)と内容によってフォントを分けている。  ユニバーサルデザイン書体を採用している。	挿絵や写真が多い。 目次に「この教科書の使い方」としての説明があり、色やイラスト別に目的がわかるようになっている。  カラーユニバーサルデザインに配慮している。ユニバーサルフォントを採用している。
カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から専門家による校閲がある。	植物油インキと再生紙を使用している。

教科・種目名 道徳

項目	発行者名	
	224 学研	232 廣あかつき
使用上の留意点	別表1 発達のためやすに照らして[A]から挿絵を部分的に、[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 本冊の巻末に「学びの記録」のページがあり、各学期の振り返りができるように工夫している。  二次元コードを読み取ることで、インターネットを経由して学習の助けとなる画像、動画、音源等を手に入れることができるように工夫している。	発達のためやすに照らして[A]から挿絵を部分的に、[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 別冊の『中学生の道徳ノート』に短編の読み物の掲載があったり、学習の記録を書き込める場所を設けている。  二次元コードを読み取ることで、インターネットを経由して学習の助けとなる画像、動画、関連するHPを手に入れることができるように工夫している。
	別表2 各題材の題目の下にその題材で考えることや重要な一文を提示している。 各教材の最後に、「考えよう」という項目で振り返りを促し、思考力や判断力を高め、実生活へつなげるように工夫している。	各教材の最後に「考える・話し合う」の「考えを広げる・深める」で自分の考えを深めることで、実生活へつなげるように工夫している。
	別表3・4 漫画や4コママンガ、スマートフォンの会話形式になっているものでわかりやすくするように工夫している。 目次に『教科書に使われているマーク』の説明があり、色やマークで目的がわかるようにしている。 ユニバーサルデザインに配慮して作成している。	目次に『題目の色の説明』があり、色や丸の数で目的がわかるようにしている。  カラーユニバーサルデザインに配慮して作成している。  植物油インキを使用している。
備考		

発行者名
233 日科
発達のためやすに照らして[A]から挿絵を部分的に、[C]では挿絵や写真が多いものを中心に、[D]では興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。 各学年の巻末に、一年間の心の成長の振り返り、道徳の授業の振り返り、心を動かしたできごとについて記入するページを設けている。
各教材の最後に「考え、話し合ってみよう」として、「深めよう」という項目で設問があり、思考力や判断力を高め、実生活へつなげられるように工夫している。
教材をテーマ別に色分けして示している。 文字の大きさは適切である。 挿絵等は1話に1~2程度掲載している。



特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 道徳

別表1

項目	2 東書
(1) ア	A B C ◇挿絵や写真を中心に使用することができる。 D ◇興味・関心に合わせて部分的に使用することができる。
(2) イ	◇気づかせたいこと、考えさせたいことを視覚的にも理解できるよう挿絵が補助をしている。 ◇「考えよう」「見つめよう」によって思考の流れを示している。 ◇内容項目をピクトグラムによって各教材に示している。 ◇インターネットによる資料補充の紹介を示している。 ◇難語について脚注を付けている。

別表2

項目	2 東書
(1) ア	◇家族、学級を題材としたものが多く、実生活に結び付けて考えることができるように工夫している。
(2) イ	◇経験のあるような題材を取り上げることで、身近な人や出来事に対して、自分やその人の思いを考えることができるように工夫している。
ウ	◇経験のあるような題材を取り上げることで、身近な人や出来事に対して、自分やその人の思いを考えることができるように工夫している。

別表3

項目	2 東書
(1) ア	イ ◇写真が大きく見やすい、また、キャプションを適切に付けている。
(2)	

別表4

項目	2 東書
(1) ア	◇挿絵は淡い色彩である。 ◇用紙が薄く黄色みがかっており、目に対する刺激を抑えている。
(2)	◇色覚特性に適應するデザイン、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ◇軽量用紙採用の表記がある。
(3) イ	◇文字の大きさは適切である。
ウ	◇大きさはAB判である。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 道徳

別表1

項目	17 教出
(1) ア	A B C ◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することが可能である。 D ◇興味・関心に合わせて部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇難語について脚注を付けている。

別表2

項目	17 教出
(1) ア	◇スポーツ選手や、話題の人のエピソードを交えた教材を使い、イメージを持ちやすくなるように工夫している。
(2) イ	◇1年生では学校で実際に起こりうるエピソードを題材に取り上げている。3年生では社会に視野を広げられるような題材を取り上げている。
ウ	◇「聞いて」「道しるべ」によって思考の流れを作っている。「やってみよう」ではロールプレイングにより表現して理解する手段を示している。

別表3

項目	17 教出
(1) ア	◇写真のサイズを小さめにし、多用している。
(2) イ	

別表4

項目	17 教出
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇ユニバーサルフォントを採用している。
(2) イ	◇適切である。
(3) ウ	◇堅ろうである。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料)道徳

別表1

項目	38 光村
(1) ア	◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することが可能である。 ◇興味・関心に合わせて部分的に使用することが可能である。
イ	◇挿絵・写真を多量に、視覚的に理解することを支援している。 ◇インタビュー形式の題材では、イラストによる会話の区別を示している。 ◇必要な語句については、ふり仮名を付す配慮をしている。 ◇内容項目をピクトグラムによって示している。 ◇各教材に二次元コードを付け、インターネットで資料を入手できるように工夫している。

別表2

項目	38 光村
(1) ア	◇家庭生活、学校生活、社会生活において身近な話題を取り扱っている。 ◇携帯電話等のトラブルについて取り扱っている。 ◇著名人のエピソードを取り扱い、身近に感じられるように工夫している。
イ	
ウ	◇「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」と思考の手順を示している。 ◇教材で考えたことを「深めたいむ」により一般化できるように工夫している。

別表3

項目	38 光村
(1) ア	
(2) イ	◇題材と挿絵がマッチングしている。 ◇写真に適切なキャプションを付けている。

別表4

項目	38 光村
(1) ア	◇全体的に淡い色彩である。 ◇特別支援教育の観点から専門家によるユニバーサルデザインの校閲がある。
(2) イ	◇説明、題名、本文によってフォントを区別している。 ◇ユニバーサル書体を採用している。
ウ	◇堅ろうである。

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料)道徳

別表1

項目	116 日文
(1) ア	◇挿絵を部分的に使用することが可能である。 ◇挿絵や写真を部分的に使用することが可能である。 ◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することが可能である。 ◇興味・関心に合わせて部分的に使用することが可能である。
イ	◇各教材が扱っている4種類の内容項目を、色とイラストによって分け、各教材の右上に示している。 ◇各題材の題目の下に、登場人物が分かりやすいように、イラストと名前を提示している。 ◇目次の次の頁に「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」を文章やイラスト、図表で説明している。 ◇各教材の最後に、「考えてみよう」で内容について考え、「自分に+1」で自分の考えを深められるように工夫している。 ◇「道徳ノート」を添付しており、自分の考えや、友達の見解や話し合いを記録することができる。

別表2

項目	116 日文
(1) ア	◇各教材の最後に、「考えてみよう」「自分に+1」という項目で振り返りを促し、思考力や判断力を高め、実生活へつなげるように工夫している。
イ	◇各題材の題目の下に、登場人物のイラストと名前が提示してあることで導入段階での興味・関心を高められるように工夫している。 ◇各教材が扱っている4種類の内容項目を、色とイラストによって分け、各教材の右上に示している。
ウ	◇インターネットを活用した学習ができる教材について、各教材の題目の下に印をつけ、学習に興味・関心をもたせるようにしている。二次元コードやアドレスは、目次に記載している。

別表3

項目	116 日文
(1) ア	
(2) イ	◇挿絵や写真が多い。

別表4

項目	116 日文
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ◇ユニバーサルフォントを採用している。
(3) イ	
ウ	

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料)道徳

別表1

項目	224 学研
(1) ア	A ◇挿絵を部分的に使用することが可能である。
	B ◇挿絵や写真を部分的に使用することが可能である。
	C ◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することが可能である。
	D ◇興味・関心に合わせて部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇各教材が扱っている4種類の内容項目を、色とイラストによってわけ、各教材の右上に示している。 ◇目次の次のページに「道徳で学ぶこと・考えること」「考えを深める四つのステップ」を設け、文章で説明している。 ◇各項目の下段にメモ欄を設け、考えたことを書き込めるように工夫している。 ◇各教材の最後に、「考えよう」で内容について考えることができ、「クローズアップ」では、その内容を深めるように説明している。 ◇本冊の巻末に「学びの記録」のページを設け、各学期の振り返りができるように工夫している。

別表2

項目	224 学研
(1) ア	◇各教材の最後に、「考えよう」という項目で振り返りを促し、思考力や判断力を高め、実生活へつなげる工夫をしている。
(2) イ	◇各題材の題目の下にその題材で考えることや重要な一文を提示することで、導入段階での興味関心を高めるように工夫している。 ◇各教材が扱っている4種類の内容項目を、色とイラストによってわけ、各教材の右上に示している。
ウ	◇インターネットを活用した学習ができる教材について、各教材の題目の下に印をつけ、学習に興味関心を抱かせるようにしている。二次元コードは、目次に記載している。

別表3

項目	224 学研
(1) ア	
(2) イ	

別表4

項目	224 学研
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	
(3) ウ	

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料)道徳

別表1

項目	232 廣あかつき
(1) ア	A ◇挿絵を部分的に使用することが可能である。
	B ◇挿絵や写真を部分的に使用することが可能である。
	C ◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することが可能である。
	D ◇興味・関心に合わせて部分的に使用することが可能である。
(2) イ	◇各教材が扱っている4種類の内容項目を、○の数と色の違いによって各教材の右下に示している。 また、裏表紙の前の見開きページで、分類して示している。 ◇道徳の学習の進め方について、目次の次のページに「道徳の時間とは」として文章で説明している。 ◇各教材の最後に「考える・話し合う」として、「学習の手がかり」を手掛かりに内容について考え、「考えを広げる・深める」で自分の考えを深められるように工夫している。 ◇「中学生の道徳ノート」を添付し、記入したあと読み返すことで自らの心の成長を実感できるように工夫している。

別表2

項目	232 廣あかつき
(1) ア	◇各教材の最後に「考える・話し合う」の「考えを広げる・深める」で自分の考えを深めることで、実生活へつなげるように工夫している。
(2) イ	◇目次の次のページに「道徳の時間とは」として文章で説明することで、一年間の道徳の学習の進め方がわかるように工夫している。 ◇各教材が扱っている4種類の内容項目を、○の数と色の違いによって各教材の右下に示している。
ウ	◇インターネットを活用した学習ができる教材について、各教材の題目の下に印をつけ、学習に興味関心をもたせるように工夫している。二次元コードやアドレスは、目次に記載している。

別表3

項目	232 廣あかつき
(1) ア	◇挿絵等を1話に1～2程度掲載している。
(2) イ	

別表4

項目	232 廣あかつき
(1) ア	◇カラーユニバーサルデザインに配慮している。
(2) イ	
(3) ウ	

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 道徳

別表1

項目	233 日科
(1) ア	<p>◇挿絵を部分的に使用することが可能である。</p> <p>◇挿絵や写真を部分的に使用することが可能である。</p> <p>◇挿絵や写真が多いものを中心に使用することが可能である。</p> <p>◇興味・関心に合わせて部分的に使用することが可能である。</p>
(2) イ	<p>◇各教材が扱っている4種類の内容項目を、色分けして示している。</p> <p>また、裏表紙の前の見開きページで、分類して示している。</p> <p>◇目次の次の頁に「道徳科って何を学ぶの?」「教科書の使い方」が文章やイラスト、図表で説明している。</p> <p>◇各教材の最後に、「考え、話し合ってみよう そして深めよう」で内容について考え深めることができるように工夫している。</p> <p>◇各学年の巻末に、一年間の心の成長の振り返り、道徳の授業の振り返り、心を動かしたできごとについて記入できるページを設けている。</p>

別表2

項目	233 日科
(1) ア	◇各教材の最後に、「考え、話し合ってみよう そして深めよう」で内容について考え深めることで、実生活へつなげるように工夫している。
イ	◇目次の次の頁に「道徳科って何を学ぶの?」「教科書の使い方」が文章やイラスト、図表で説明していることで、一年間の道徳の学習の進め方がわかるように工夫している。
ウ	◇各教材が扱っている4種類の内容項目を、題目の色の違いによって示している。

別表3

項目	233 日科
(1) ア	◇挿絵等は1話に1~2程度掲載している。
(2) イ	

別表4

項目	233 日科
(1) ア	◇各教材の番号をテーマ別に色分けしている。
イ	◇文字は適切な大きさである。
(2) ウ	
(3)	